

令和8年度

学生募集要項

(学校推薦型選抜 (一般))

教員養成課程

〔札幌校・旭川校・釧路校〕

国際地域学科

〔函館校〕

芸術・スポーツ文化学科

音楽文化専攻

〔岩見沢校〕

(学校推薦型選抜 (地域指定))

教員養成課程

〔釧路校〕

令和7年9月

北海道教育大学

目 次

北海道教育大学教育学部教員養成課程の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー).....	1
◎学校推薦型選抜 (一般)	
1 募集人員	16
2 出願方法等	17
3 入学者選抜の方法.....	20
4 面接の内容	21
5 試験会場.....	24
6 選考日程	24
学校推薦型選抜 (一般)	
別紙 1-1 (教員養成課程-札幌校)	25
別紙 1-2 (教員養成課程-旭川校)	26
別紙 1-3 (教員養成課程-釧路校)	27
別紙 1-4 (国際地域学科-函館校-地域協働専攻-国際協働グループ)	28
別紙 1-5 (国際地域学科-函館校-地域協働専攻-地域政策グループ)	29
別紙 1-6 (国際地域学科-函館校-地域協働専攻-地域環境科学グループ)	30
別紙 1-7 (国際地域学科-函館校-地域教育専攻)	31
別紙 1-8 (芸術・スポーツ文化学科-岩見沢校-音楽文化専攻)	32
実技検査等の内容	
別紙 2-1 (札幌校)	33
別紙 2-2 (旭川校)	34
別紙 2-3 (岩見沢校)	35
◎学校推薦型選抜 (地域指定)	
1 募集人員	39
2 出願方法等	39
3 入学者選抜の方法.....	42
4 面接の内容	43
5 試験会場.....	43
6 選考日程	43
◎学校推薦型選抜 (一般) 及び学校推薦型選抜 (地域指定) 共通事項	
I 障がいがある等の入学志願者の事前相談等.....	45
II 受験上の注意	45
III 入学試験における不正行為について	45
IV 合格者の発表	46
V 入学辞退, 不合格になった場合の一般選抜 (個別学力検査等) への出願	46
VI 入学手続	47
VII 授業料.....	47
VIII 入学時における麻しん (はしか)・風しん等ワクチン接種歴の確認について.....	47
IX 受験に関する問い合わせ	47
X 入学後の教育指導体制について.....	48
XI 入学試験成績等の開示について.....	48
XII 個人情報の取扱いについて.....	48
別紙 3-1 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	49
別紙 3-2 大学入学共通テストの受験教科・科目の取扱いについて.....	50
北海道教育大学入学検定料の特別措置に関する規則.....	51
「北海道教育大学基金」による奨学金について.....	52
高等教育の修学支援制度 (入学金・授業料の減免, 給付奨学金)	52
入学金・授業料の徴収猶予制度.....	53
日本学生支援機構奨学金について (貸与奨学金)	53
試験会場位置図.....	54

北海道教育大学教育学部教員養成課程の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

(令和元年6月25日制定)
(令和2年5月21日改正)
(令和4年3月24日改正)
(令和4年6月17日改正)
(令和7年6月19日改正)

（求める学生像）

教員養成課程では、子どもたちとのふれあいを大切にする豊かな人間性を育むことを第一として、現代の学校教育現場における様々な課題に対応できる幅広い教養と確かな学力を身に付け、地域社会に積極的に貢献できる教員の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 子どもが好きで、教員(養護教諭を含む。)となる強い意欲をもち、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有している人
- 2 教育に関する専門性を身に付けるために必要な、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を有している人
- 3 学校と地域社会との関わりに関心があり、地域を支える人や地域の文化・自然等に興味をもち、将来教員として地域社会の教育と文化の伝達・創造に貢献しようとする人
- 4 現代的な教育課題に興味・関心があり、教科を超えた総合的・学際的な教育に意欲をもつ人

また、教員養成課程に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した教科の基礎的学力
- 2 自らが専攻しようとする教科等に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 3 上記1及び2を通して、学校と地域社会との関わりや現代的な教育課題への関心を深めるとともに、主体性をもち、多様な価値観や考えをもつ人々と協働して学ぶ態度

（入学選抜の基本方針）

教員養成課程の入学選抜は、求める学生像に合致する入学者を選抜するため、以下の方法等により実施します。また、入学者に求める具体的な学習成果(学力の3要素)及び教職に就く意欲については、入試区分ごとに別表1のようになります。

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力、判断力及び表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等(教科試験(専攻・分野によっては、面接や実技))」の成績
- (2) 学習成果(学力の3要素)等全般については、「調査書」の内容
なお、教職に就く意欲等については、「学びの履歴と志望理由書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力及び判断力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 「表現能力(伝達表現能力)」, 目的意識, 入学後の勉学意欲, 専攻に適した資質, 教師としての基本的資質等を有していることについては、「面接」の結果
- (3) 学習成果(学力の3要素)等全般については、「調査書」の内容
なお、教職に就く意欲等については、「学びの履歴と志望理由書」の内容

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 教員となる強い意欲, 将来教員として地域の教育・文化に貢献しようとする姿勢及び豊かな人間関係を築くことができ, 高いコミュニケーション能力を有していることについては、「面接」の結果
- (2) 一定の学力を備えていることや学習成果(学力の3要素)等全般については, 出身学校長の「推薦書」, 「自己推薦書」, 「調査書」等の提出書類の内容
なお, 大学において専門分野を学ぶための十分な技能及び表現力を有していることについては, 専攻又は分野により「実技」を含めて判定します。
また, 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識を確認するため, 「大学入学共通テスト」の受験を課します。

【学校推薦型選抜（地域指定：釧路校）】

学校推薦型選抜（地域指定：釧路校）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

（北海道日高振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局、オホーツク総合振興局、十勝総合振興局、釧路総合

振興局，根室振興局管内の高等学校等の卒業見込みの者が選抜対象)

- (1) へき地・小規模校教育等に高い関心及び強い意欲，将来教員として上記振興局管内に定着する意思並びに豊かな人間関係を築くための高いコミュニケーション能力を有していることについては、「個人面接」及び「集団面接(討論)」の結果
- (2) 一定の学力を備えていることや学習成果(学力の3要素)等全般については，出身学校長の「推薦書」，「自己推薦書」，「調査書」等の提出書類の内容
また，高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識を確認するため，「大学入学共通テスト」の受験を課します。

【総合型選抜(教員養成特別入試)】

総合型選抜(教員養成特別入試)については，単なる知識量だけではなく，思考力，判断力，表現力，主体性，協働性など，筆記試験だけでは測定できない側面，これまでの活動，学習の成果等も含めて，総合的な能力を以下の検査等により総合して判定します。

- (1) 第一次検査
学習成果(学力の3要素)等全般，教職に就く意欲等については，「調査書」及び「志望理由書」により評価します。
- (2) 第二次検査
教職を目指す上で必要な思考力，判断力，主体性及び協働性については，「講義」を受講し，それに基づく「グループ討論」及び「レポート作成」により評価します。くわえて，教員への興味・関心及び教職への志望意欲について，「面接」により評価します。
- (3) 大学入学共通テスト
高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力及び判断力を有していることについては，「大学入学共通テスト」により評価します。
なお，大学において専門分野を学ぶための十分な技能及び表現力を有していることについては，専攻又は分野により第二次検査で「実技」を含めて評価します。

【特別選抜(帰国子女入試)】

外国で学校教育を受け，異なった教育制度，社会，文化等に接した学生を受け入れることは，それ自体が国際化の一環となるとともに，一般学生に対しても多様な文化的刺激を与え，国際感覚を豊かにする機会となります。このような趣旨により，帰国子女に対して「大学入学共通テスト」を免除する特別選抜を行っています。

【特別選抜(社会人入試)】

経験を積んだ社会人が教員を目指したり大学での学問研究を通じて新たな可能性を発見したりするため，「大学入学共通テスト」を免除する特別選抜を行っています。

【特別選抜(私費外国人入試)】

国際化時代の進展とともに，外国人留学生の受入れは，大学にとってますます重要な課題となっています。特にアジア諸国からの留学希望者は，飛躍的に増加しています。こうした要請に応えるため，私費外国人留学生に対して，「大学入学共通テスト」を免除する特別選抜を行っています。

【特別選抜(編入学入試)】

短期大学卒業者，高等専門学校卒業者，大学卒業者及び大学在学者を対象として，編入学試験を実施しています。

附 記

この方針は，令和7年7月1日から施行する。

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【教員養成課程(札幌校, 旭川校, 釧路校)】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する

資料

入試 区分	入学選抜方法	教職に就く 意欲	学力の3要素			備 考
			A	B	C	
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		個別学力検査		○	○	
		学びの履歴と志望理由書** 調査書*	○			
		(実技検査)		◇	◇	◇
		(面接(口頭試問含む。))	○	○	○	○
	(実技に関する活動歴調査書)*		◇			
	後期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		面接(口頭試問含む。)	○	○	○	札幌校, 旭川校
		面接	○	○	○	釧路校
		学びの履歴と志望理由書** 調査書*	◇			
(実技検査)			◇	◇	◇	
総 合 型 選 抜	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
	グループ討論		○	○	○	
	レポート			○	○	
	面接(口頭試問含む。)	○	○	○	○	旭川校
	面接	○		○	○	札幌校, 釧路校
	志望理由書** 調査書*	◇		◇	◇	
	(実技検査)		○	○		
	(実技に関する活動歴調査書)*		◇			
学 校 推 薦 型 選 抜	大学入学共通テスト		/			指定する教科・科目を受験することが要件
	面接(口頭試問含む。)	○	○	○	○	札幌校, 旭川校
	面接	○		○	○	釧路校
	推薦書**	◇	◇	◇	◇	
	自己推薦書**	◇		◇	◇	
	調査書**		◇	◇	◇	
	(実技検査)		○	○		
	(集団面接(討論)) (実技に関する活動歴調査書)*		◇			

(注)※は、提出書類を示す。

()は、特定の分野等が行う選抜方法を示す。

北海道教育大学教育学部国際地域学科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（令和元年6月25日制定）

（令和2年5月21日改正）

（令和4年3月24日改正）

（求める学生像）

国際地域学科では、国際的な幅広い視野をもって、身近な地域を活性化・再生できる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

○地域協働専攻

- 1 国際的視野に立った幅広い教養，豊かな人間性を身に付けようとする意欲のある人
- 2 地域学の基礎的知識とそれを構成する学問領域に関する専門的知識を身に付けようとする意欲がある人
- 3 地域学的問題を俯瞰的に捉え，国際的視野をもって考える態度を身に付けようとする意欲がある人
- 4 地域の活性化・再生に，主体的に行動し取り組む姿勢を身に付けようとする意欲がある人
- 5 地域社会の課題の調査・研究方法と，その成果を国際的視野をもって他者に伝えるコミュニケーションの能力と方法を身に付けようとする意欲がある人
- 6 大学での学修に必要なバランスの取れた学力並びに特定の教科に偏らない理解力，思考力及び表現力を有している人又は外国語等の特定科目に優れた学力を有している人

また，地域協働専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は，以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した教科等においてバランスの取れた基礎的な学力，理解力，思考力及び外国語の優れた知識・技能
- 2 地域学的問題を俯瞰的に捉え，国際的な視野をもって，主体的に地域の活性化・再生への関心を深めていく態度

○地域教育専攻

- 1 国際的視野に立った幅広い教養，豊かな人間性を身に付けようとする意欲がある人
- 2 初等教育と特別支援教育に関する専門的知識と技能を身に付けようとする意欲がある人
- 3 子どもの教育問題を俯瞰的に捉え，国際的視野をもって考える態度を身に付けようとする意欲がある人
- 4 地域の教育課題を理解し，学校教育を通して課題解決に取り組む主体的姿勢を身に付けようとする意欲がある人
- 5 地域の教育課題を調査・研究し，その成果を国際的視野をもって他者に伝えるコミュニケーションの能力と方法を身に付けようとする意欲のある人
- 6 大学での学修に必要なバランスの取れた学力及び特定の教科に偏らない理解力・思考力・表現力を有している人

また，地域教育専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は，以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した教科等においてバランスの取れた基礎的な学力，理解力，思考力等
- 2 子どもの教育問題を俯瞰的に捉え，国際的な視野をもって，主体的に地域の教育課題への関心を深めていく態度

（入学者選抜の基本方針）

国際地域学科の入学者選抜は，求める学生像に合致する入学者を選抜するため，以下の方法等により実施します。また，受入学生に求める具体的な学習成果（学力の3要素）及び専門分野を学ぶ意欲については，入試区分ごとに別表2のようになります。

○地域協働専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については，以下の成績，提出書類の内容等により，総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力，判断力，表現力等を有していることについては，「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 大学入学共通テストでは検出し難い理解力，思考力，表現力等を有していることについては，特定の教科に偏らない内容である「個別学力検査（総合問題）」の成績
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については，「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については，以下の成績，面接の結果，提出書類の内容等により，総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育や関する専門性を身に付けるために必要な基礎

- 的知識並びに思考力，判断力等を有していることについては，「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 目的意識，入学後の学習意欲，専攻に適した資質等を有していることについては，「面接」の結果
 - (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については，「調査書」の内容

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については，以下の面接の結果，提出書類の内容等により，総合して判定します。

- (1) 各グループにおいて，以下に示す能力の獲得に必要な十分な意欲，資質及び適正を備えていることについては，「面接」の結果
 - (国際協働グループ)
異なる国や民族・地域・文化・社会との間での協調的かつ現実的な国際協働の現場において必要となるグローバルな実践的課題解決能力
 - (地域政策グループ)
地域行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団，企業などとの多様なネットワークを構築する能力及び地域の課題解決に取り組む実行力
 - (地域環境科学グループ)
地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して，その方法論と技術を身に付けようとする態度，探究力及び批判的な思考力
- (2) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については，出身高等学校長の「推薦書」，「自己推薦書」，「調査書」等の提出書類
さらに，国際的な視野をもつために必要な語学力については，所定の外国語資格のスコア又は等級を保有する者を加点して評価します。

○地域教育専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については，以下の成績，提出書類の内容等により，総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力，判断力，表現力等を有していることについては，「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 「表現能力（伝達表現能力）」については，「個別学力検査（小論文）」の成績
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については，「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については，以下の成績，面接の結果，提出書類の内容等により，総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力，判断力，表現力等を有していることについては，「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 目的意識，入学後の学習意欲，専攻に適した資質，教師としての基本的資質等を備えていることについては，「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については，「調査書」の内容
なお，教職に就く意欲等については，面接のための資料である「学びの履歴と志望理由書」の内容を参考に評価します。

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については，以下の面接の結果，提出書類の内容等により，総合して判定します。

- (1) 子どもの教育問題について国際的視野をもって考え，地域の教育課題を理解し，学校教育を通して課題解決に取り組む姿勢を身に付けようとする意欲を有していることについては，「面接」の結果
- (2) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については，出身高等学校長の「推薦書」，「自己推薦書」，「調査書」等の提出書類

また，国際的な視野を持つために必要な語学力については，所定の外国語資格のスコア又は等級を保有する者を加点して評価します。

※特別選抜（帰国子女入試，社会人入試，編入学入試）については，教員養成課程と同様の方法等により実施しています。

附 記

この方針は，令和4年4月1日から施行する。

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【国際地域学科（函館校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考
			A	B	C	
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		個別学力検査		○	○	
		調査書※		◇	◇	◇
	後 期 日 程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		面接（口頭試問含む。）	○	○	○	地域教育専攻
		面接	○	○	○	地域協働専攻
		学びの履歴と志望理由書※	◇			地域教育専攻
		調査書※		◇	◇	◇
	学 校 推 薦 型 選 抜	面接	○		○	○
推薦書※		◇	◇	◇	◇	
自己推薦書※		◇		◇	◇	
調査書※			◇	◇	◇	
英語検定等の証明書※			○			

(注) ※は、提出書類を示す。

北海道教育大学教育学部芸術・スポーツ文化学科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（令和元年6月25日制定）

（令和2年5月21日改正）

（令和4年3月24日改正）

（令和7年4月1日改正）

（求める学生像）

芸術・スポーツ文化学科では、芸術・スポーツ文化を多面的に追究し、地域の活性化及び文化振興に貢献できる人材の養成を目指していることから、「芸術文化、スポーツ文化がもつ多面的な価値を追究し、その効用を様々な文化活動を通して、人々の生活に還元し、地域の活性化や心豊かな生活環境の創造に関わろうとする人」を求めます。

○芸術・スポーツビジネス専攻

芸術・スポーツビジネス専攻では、芸術・スポーツ文化を生かしたマネジメントの知識や組織の運営に関する実践的な能力を有し、芸術・スポーツを通じた地域活性化やまちづくりに貢献するとともに、新しい文化ビジネスを創造できる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 芸術・スポーツのビジネス研究を通じて、芸術・スポーツ文化振興に貢献することを目指す人
- 2 芸術・スポーツ活動の企画や運営などを創造的に展開できる資質をもつ人
- 3 国際的な芸術・スポーツビジネスへの関心をもち、柔軟性と協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人

また、芸術・スポーツビジネス専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 社会及び地域における課題への関心並びにそれらの課題を解決するための論理的思考力
- 2 芸術・スポーツビジネスに関する知識を主体的に学ぶ態度

○音楽文化専攻

音楽文化専攻では、音楽文化による地域の活性化を促すことができるとともに、音楽に関する専門的な知識、技法及び技能をもち、自らの創作活動を発信し、音楽文化を地域社会に広める人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 音楽文化全般を深く愛する熱意のある人
- 2 人の心に音楽のメッセージを届けることについて、積極的に展開したいと思う人
- 3 演奏や創作などの音楽活動を展開できる優れた資質をもつ人

また、音楽文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した音楽の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的な音楽の知識及び演奏能力並びに主体性をもって学ぶ態度

○美術文化専攻

美術文化専攻では、美術文化を地域社会に広め、美術による地域の活性化を促すことができ、表現者としても美術に関する深い造詣、確かな技術・諸問題を切り拓く構想力を有する人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 美術文化に対する関心や探究心を有し、基礎的な造形能力や探究心に富む人
- 2 美術に関するあらゆる事柄について研究を重ね、社会と芸術文化の新しい関わり方を提案・実践することに意欲的な人
- 3 美術に関する専門知識、高い技能や表現力を身に付け、社会をリードする指導者となることを目指す人

また、美術文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した美術科の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的な美術の知識及び実技能力並びに主体性をもって学ぶ態度

○スポーツ文化専攻

スポーツ文化専攻では、スポーツ文化を地域社会に広め、スポーツによる地域の活性化を促すことができるとともに、スポーツに関する科学的知識、技能を有し、スポーツ指導ができる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 スポーツ文化への関心や探究心をもち、基礎的な体力・運動能力を有し、それらの向上を目指す人
- 2 スポーツ競技能力の向上や指導力育成、そして、運動・スポーツの科学的探究を通じて文化創造に貢献することを目指す人
- 3 野外環境教育を通じて、自然と人間の関係を理解し、その良好な在り方の探究・実現に向けて行動することを目指す人

また、スポーツ文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した保健体育科の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的なスポーツの知識及び技能や、自然と人の関係や環境をめぐる諸問題についての基礎的な知識及び多様な価値観
- 3 上記1及び2に基づいた思考力並びに主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

(入学者選抜の基本方針)

芸術・スポーツ文化学科の入学者選抜は、求める学生像に合致する入学者を選抜するため、以下の方法等により実施します。また、受入学生に求める具体的な学習成果（学力の3要素）及び専門分野を学ぶ意欲については、入試区分ごとに別表3のようになります。

○芸術・スポーツビジネス専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、芸術・スポーツビジネス分野における専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 社会及び地域における芸術・スポーツのビジネス研究並びに文化振興への関心度、創造性及び企画・運営に必要な問題発見・課題解決能力（発想・思考・情報活用・判断・表現・言語・構成）については、「個別学力検査等（実技）」の成績
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、芸術・スポーツビジネス分野における専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果、「調査書」及び「活動実績書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で芸術・スポーツビジネスを学ぶためにグローバルな視点及び計画性、新たな価値を生む創造性並びに表現力を有していることについては、「面接」の結果
- (2) 芸術・スポーツビジネスを学ぶための計画性及び意欲については、「調査書」、「自己推薦書」及び「学修計画書」の内容

○音楽文化専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、音楽の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、音楽の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質等については、「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で音楽を専門に学ぶために十分な技能及び表現力を有していることについては、「実技」の成績
- (2) 音楽を専門的に学ぶにふさわしい主体性をもって学ぶ態度並びに豊かな人間関係を築くことができる協働性及びコミュニケーション能力を有していることについては、「面接」の結果
- (3) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、「自己推薦書」及び「調査書」の内容

○美術文化専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、美術の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、美術の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質等については、「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で美術を専門に学ぶために十分な技能及び表現力を有していることについては、「実技」又は「小論文」の成績
- (2) 美術を専門的に学ぶにふさわしい主体性をもって学ぶ態度並びに豊かな人間関係を築くことができる協働性及びコミュニケーション能力を有していることについては、「自己推薦書」の内容及び「面接」の結果
- (3) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、「ポートフォリオ」及び「調査書」の内容

○スポーツ文化専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、スポーツ文化の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技及び面接）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、スポーツ文化の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技及び面接）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) スポーツ文化を専門に学ぶために必要な知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「小論文」の成績、「面接（口頭試問含む）」の結果
- (2) スポーツ文化を専門に学ぶための意欲や技能及び表現力を有していることについては、「自己推薦書」及び各種「活動歴」の内容
- (3) スポーツ文化を専門に学ぶためにふさわしい主体的な態度及び豊かな人間関係を築くことができる協働性やコミュニケーション能力を有していることについては、「面接（口頭試問含む）」の結果

※特別選抜（帰国子女入試，社会人入試，私費外国人入試，編入学入試）については、教員養成課程と同様の方法等により実施しています。

附 記

この方針は、令和7年4月1日から施行する。

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【芸術・スポーツ文化学科 芸術・スポーツビジネス専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考	
			A	B	C		
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
		実技検査	○	○	○	◇	
		面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	
		調査書※		◇	◇	◇	
	後期 日程	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
		面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	
		活動実績書※	○	○	○	○	
		調査書※		◇	◇	◇	
総 合 型 選 抜	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○		
	プレゼンテーション	○	○	○			
	自己推薦書※	○		○	◇		
	学修計画書※	○	○	○	○		
	調査書※		◇	◇	◇		

(注) ※ 提出書類を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考
			A	B	C	
一般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		調査書*		◇	◇	◇
	後期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		面接	○		○	○
調査書*		◇	◇	◇		
学校 推 薦 型 選 抜	面接			○	○	
	実技検査		○	○		
	(作品審査)		○	○		作曲コース
	推薦書*	◇	◇	◇	◇	
	自己推薦書*	◇	◇	◇	◇	
	調査書*		◇	◇	◇	

(注) ※ 提出書類を示す。
() は、特定のコースが行う選抜方法を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考
			A	B	C	
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		調査書※		◇	◇	◇
	後期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		面接	○		○	○
調査書※		◇	◇	◇		
総 合 型 選 抜	実技検査又は小論文		○	○		
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	
	ポートフォリオ※	○	○	○		
	自己推薦書※	◇	◇	◇	◇	
	調査書※		◇	◇	◇	

(注) ※ 提出書類を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 スポーツ文化専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考	
			A	B	C		
一 般 選 抜	前期	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
	日	実技検査		○	○		
	程	面接	○		○	○	
		調査書*		◇	◇	◇	
	後期	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
	日	実技検査		○	○		
	程	面接	○		○	○	
		調査書*		◇	◇	◇	
総 合 型 選 抜	小論文		○	○			
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○		
	自己推薦書*	◇	◇	◇	◇		
	調査書*		◇	◇	◇		
	スポーツに関する活動実績書*		◇				
	自然体験活動，野外教育，環境教育， 野外活動に関する活動歴*		◇				

(注) ※ 提出書類を示す。

令和8年度 北海道教育大学入学試験日程等一覧

種 別		出願受付期間	学力検査日等	合格発表日	入学手続期間	備 考	
大学入学共通テスト			令和8年1月17日(土) ～1月18日(日)				
学 部	一般選抜	前期日程	令和8年1月26日(月) ～2月4日(水)	令和8年2月25日(水) ～2月27日(金)	令和8年3月7日(土)	令和8年3月8日(日) ～3月15日(日)	追加合格 令和8年3月28日(土)
		後期日程		令和8年3月12日(木) ～3月13日(金)	令和8年3月23日(月)	令和8年3月24日(火) ～3月27日(金)	
	総合型選抜	教員養成特別入試	令和7年9月10日(水) ～9月17日(水)	令和7年10月25日(土) ～10月26日(日)	令和8年2月10日(火)	札幌・旭川・釧路のみ 第1次合格発表 令和7年10月1日(水)	
		自己推薦入試	令和7年10月10日(金) ～10月17日(金)	令和7年11月22日(土) ～11月23日(日)			岩見沢校のみ
	学校推薦型選抜	一 般	令和7年11月4日(火) ～11月10日(月)	令和7年11月22日(土) ～11月23日(日) (地域指定は11月23日)	令和7年12月5日(金)	令和8年2月11日(水) ～2月18日(水)	
		地 域 指 定					釧路校のみ
		帰国子女入試					
	特別選抜	社会人入試					
		私費外国人入試	令和8年1月26日(月) ～2月4日(水)	令和8年2月25日(水) ～2月27日(金)	令和8年3月7日(土)	令和8年3月8日(日) ～3月15日(日)	
		編入学入試	令和7年11月4日(火) ～11月10日(月)	令和7年11月22日(土) ～11月23日(日)	令和7年12月5日(金)	令和8年3月8日(日) ～3月15日(日)	

入学試験及び入学料減免等に関する問い合わせ先

修学校	郵便番号	所 在 地	入 学 試 験 関 係		入 学 料 減 免 等 関 係	
			担 当	電 話 番 号	担 当	電 話 番 号
札幌校	002-8502	札幌市北区あいの里 5条3丁目1番5号	入試課	011-778-0274	学生支援課	011-778-0326
旭川校	070-8621	旭川市北門町9丁目	教育支援グループ	0166-59-1223	教育支援グループ	0166-59-1231
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目15番 55号	教育支援グループ	0154-44-3230	教育支援グループ	0154-44-3234
函館校	040-8567	函館市八幡町1番2号	教育支援グループ	0138-44-4370	教育支援グループ	0138-44-4237
岩見沢校	068-8642	岩見沢市緑が丘2丁目 34番地1	教育支援グループ	0126-32-1348	教育支援グループ	0126-32-0443

災害等による選抜方法等の変更について

この学生募集要項発行後、災害発生や治療法が確立していない感染症の拡大等に伴い、やむを得ず、試験日程や選抜方法等を変更する場合があります。

出願受付期間終了後、上記の変更を行う場合、志願者への個別連絡のほか、本学ホームページ「入試情報」(<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/>)で変更内容をお知らせしますので、最新の情報を確認するようご注意願います。



学校推薦型選抜（一般）募集要項

1 募集人員

			学部・課程・学科・修学校等	募集人員	
教 育 学 部	教 員 養 成 課 程	札 幌 校	学 校 教 育 専 攻	6	
			特 別 支 援 教 育 専 攻	3	
			言 語 ・ 社 会 教 育 専 攻	10	
			理 数 教 育 専 攻	5	
			生 活 創 造 教 育 専 攻	6	
		芸 術 体 育 教 育 専 攻	小 計	図 画 工 作 ・ 美 術 教 育 分 野	4
				音 楽 教 育 分 野	2
				保 健 体 育 教 育 分 野	4
		合 計			50
		旭 川 校	教 育 発 達 専 攻	教 育 発 達 専 攻	13
	国 語 教 育 専 攻			9	
	英 語 教 育 専 攻			5	
	社 会 科 教 育 専 攻			10	
	数 学 教 育 専 攻			7	
	理 科 教 育 専 攻			9	
	生 活 ・ 技 術 教 育 専 攻			7	
	芸 術 ・ 保 健 体 育 教 育 専 攻		小 計	音 楽 分 野	3
				美 術 分 野	4
				保 健 体 育 分 野	3
				合 計	
	釧 路 校		地 域 学 校 教 育 実 践 専 攻	45	
		合 計			45
	国 際 地 域 学 科	函 館 校	地 域 協 働 専 攻	国 際 協 働 グ ル ー プ	25
				地 域 政 策 グ ル ー プ	20
				地 域 環 境 科 学 グ ル ー プ	15
			小 計		
		地 域 教 育 専 攻			8
合 計			68		
芸 術 ・ ス ポ ー ツ 文 化 学 科	岩 見 沢 校	音 楽 文 化 専 攻	声 楽 コ ー ス	16	
			鍵 盤 楽 器 コ ー ス		
			作 曲 コ ー ス		
			管 弦 打 楽 器 コ ー ス		
			音 楽 教 育 ・ 音 楽 文 化 コ ー ス		
	小 計			16	
合 計			16		
全 学 合 計				249	

(注) 教員養成課程－旭川校－国語教育専攻には、書道分野の募集人員を含みます。

※各専攻等が定める合格基準に満たない場合は、不合格とします。

合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。

2 出願方法等

「1 募集人員」に示す課程・学科・修学校・専攻・分野・グループ・コース（以下「課程等」という。）の中から、一つの修学校の課程等に限り、出願することができます。

この場合、本学の志望校以外の修学校又は他の国公立大学の学校推薦型選抜には、出願できません。

(1) 出願要件

出願要件は、各課程等ごとに異なります。

「学校推薦型選抜（一般）」（25～32ページ）を参照してください。

なお、**合格した場合、入学を確約できる者**とします。

（注） 教員養成課程（札幌校、旭川校、釧路校）の志願者は大学入学共通テストを受験する必要があります。本学が指定した受験を要する教科・科目を受験しなかった場合には、合格が取り消されます。受験を要する教科・科目は49ページの別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照してください。

(2) 出願手続

本学ホームページにて、インターネット出願（以下「出願サイト」という。）の具体的な手順を説明しています。

出願前に必ずご覧ください。

https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00000200/00000285/20250918_%E5%87%BA%E9%A1%98%E3%81%AE%E6%B5%81%E3%82%8C

出願サイトによる出願及び出願書類の郵送（または持参）の両方が必要となります。出願サイトの出願手続き及び、出願書類の郵送（または持参）の両方が完了しないと出願受付にはなりませんのでご注意ください。

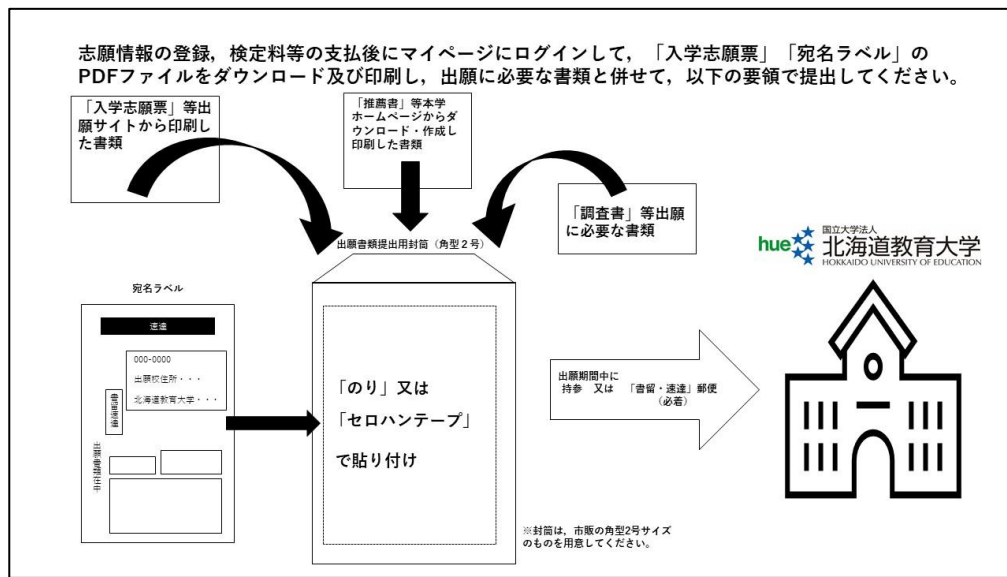
○事前に準備が必要なもの

- ・メールアドレス（出願サイト登録用）
- ・提出用出願書類等出力環境（プリンターなど）

○インターネット出願登録開始（マイページへの登録等）

出願サイトURL (<https://e-apply.jp/ds/hokkyodai-net/>)

○システムについてのお問い合わせ先 0120-202079（サポートセンター）



ア 出願書類

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

出 願 書 類	注 意 事 項
1 入 学 志 願 票 [本学所定様式]	出願サイトにて、必要事項入力後に生成される様式を印刷してください。(A4判片面印刷としてください。)
2 調 査 書	在学学校長が作成し、厳封されたものを提出してください。 ※ 作成にあたっては、記載内容に誤りや不足のないよう、正確に記入してください。 ※ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書又は成績通信簿を提出してください。
3 推 薦 書 [本学所定様式]	次の各項目については、抽象的・概評的な表現ではなく、具体的事実に基づいて記入してください。 「推薦する理由」欄 適性があると認められる理由等を明確に記入してください。 「学業所見」欄 学業について、調査書と重複しない特記すべき所見を記入してください。 「人物所見」欄 長所・短所等について、調査書と重複しないよう具体的に記入してください。 「その他の参考事項(教科外の諸活動・特技・資格・表彰等)」欄 ・ 教科外の諸活動 ：各学年でのホームルームにおける役職名及び活動状況、生徒会役員等全校的な役職名、学年及び活動状況、クラブ活動における所属クラブ名及び活動状況(役職名、部員数、大会等の出場歴、成績、記録等)、ボランティア活動等を記入してください。 ・ 特技・資格・表彰等 ：英検〇級、柔道〇段、スキー〇級等の資格や本人の特技又は表彰歴を記入してください。 ・ その他特記事項 ：学校外の活動等を調査書と重複しない項目について、特記すべき事項を記入してください。 ※ 推薦書の様式は、本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp) からダウンロードできますので、データを入力し、印刷したものを提出してください。なお、ダウンロードした様式の行数を増やすなど、改変して使用しないよう留意願います。また、A4両面で印刷のうえ、公印を押印して提出してください。 ※ 在籍高等学校では、課程等ごとに設けている1校当たりの推薦者数の上限を超えていないか確認してください。
4 自 己 推 薦 書 [本学所定様式]	本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp) から様式をダウンロードして、作成してください。(A4判両面印刷としてください) なお、作成にあたっては、行数等の様式の変更は行わず、自分自身で考えて作成してください。 また、生成AIの使用は認めません。
5 実 技 に 関 す る 活 動 歴 調 査 書 [本学所定様式]	教員養成課程－旭川校－芸術・保健体育教育専攻－保健体育分野を志望する場合は、本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp) から様式をダウンロードして、体育に関する活動歴を記入してください。 ※ 活動歴に関する資料は、この所定用紙以外は受け付けません。
6 希 望 分 野 調 査 票 [本学所定様式]	次のいずれかの課程等を志望する者は、本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp) から様式をダウンロードして、手書きで必要事項を記入してください。 ① 教員養成課程－札幌校－学校教育専攻 ② 教員養成課程－札幌校－言語・社会教育専攻 ③ 教員養成課程－札幌校－理数教育専攻

7 実技検査選択票 [本学所定様式]	次のいずれかの課程等を志望する場合は、出願サイトにて、必要事項入力後に生成される様式を印刷してください（A4判片面印刷としてください）。 ① 教員養成課程－札幌校－芸術体育教育専攻－保健体育教育分野 ② 教員養成課程－旭川校－芸術・保健体育教育専攻－音楽分野 ③ 芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻
8 実技（音楽）の楽譜 [該当者のみ]	教員養成課程－札幌校－芸術体育教育専攻－音楽教育分野を志望する者は、選択した曲の楽譜のコピーを提出してください。 ※ 入学志願票とともに提出してください。 別紙2-1「実技検査等の内容」（33ページ）参照。
9 実技（音楽）の 伴奏用楽譜 [該当者のみ]	実技（音楽）検査を必要とする次の課程等を志望する者で、伴奏用楽譜を必要とする場合は、提出してください。 ① 教員養成課程－旭川校－芸術・保健体育教育専攻－音楽分野 ② 芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻 ※ 入学志願票とともに提出してください。 別紙2-2、2-3「実技検査等の内容」（34～37ページ）参照。 ※ 芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻を志望する者は、楽譜の大きさは、各ページともA4判縦（縦30cm×横21cm）としてください。
10 英語検定等の 証明書 [該当者のみ]	国際地域学科－函館校－地域協働専攻の全グループ及び地域教育専攻を志望する者で、次の加点対象に該当する場合は、提出してください。 ① ケンブリッジ英語検定 140以上 ⑥ TEAP CBT 420点以上 ② 実用英語技能検定 1,950点以上 ⑦ TOEFL iBT 42点以上 ③ GTEC 930点以上 ⑧ TOEIC L&R/TOEIC S&W 1,150点以上 ④ IELTS 4.0以上 ⑨ 国連英検 B級以上 ⑤ TEAP 225点以上 ※ 入学志願票とともに提出してください。 ※ 各機関等の発行する証明書（写しは不可）を提出してください。 なお、提出された証明書は返却しません。 ※ TOEFL iBTは、Official Score Report（公式スコア票：Institution Codeは、4922です。）を申し込み、提出してください。 別紙1-4～1-7「学校推薦型選抜：一般」（28～31ページ）参照。

※本学ホームページからダウンロードし作成する出願書類については、指示がある場合を除き、PC入力により作成してください。

イ 入学検定料の支払い方法について

入学検定料 17,000円

インターネット出願サイトに表示される入学検定料支払画面に従い、お支払いください。

なお、支払方法は以下のとおりです。

- ① クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFJカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード）
- ② ネットバンキング（Pay-easy（ペイジー）決済等）
- ③ コンビニエンスストア（ローソン, ファミリーマート, セブン・イレブン, セイコーマート, デイリーヤマザキ, ヤマザキデイリーストア, ミニストップ）

※入学検定料の支払いには、別途手数料がかかります。手数料は、支払人負担となります。

ウ インターネット出願登録及び入学検定料等払込開始日

令和7年10月28日（火）午前10時00分～

エ 出願受付期間

令和7年11月4日（火）～11月10日（月）（必着）

出願書類は「志望する修学校」へ「書留・速達」郵便又は持参にて提出してください。

ただし、令和7年11月11日（火）以降に到着した場合でも、11月8日（土）までの消印があるものは、受け付けます。

持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。(土・日・祝日を除きます。)
 なお、全ての書類が本学に到着し、不備等がないことが確認できた時点をもって出願手続完了となります。ネットワークのトラブル等による出願の遅れには対応はできませんので、時間に余裕を持った出願をお願いします。

オ 出願受付場所

「志望校の担当課・グループ」へ出願書類を提出してください。

修学校	郵便番号	所在地	担当	電話
札幌校	002-8502	札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号	入試課	011-778-0274
旭川校	070-8621	旭川市北門町9丁目	教育支援グループ	0166-59-1223
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目15番55号	教育支援グループ	0154-44-3230
函館校	040-8567	函館市八幡町1番2号	教育支援グループ	0138-44-4370
岩見沢校	068-8642	岩見沢市緑が丘2丁目34番地1	教育支援グループ	0126-32-1348

カ 注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しないので注意してください。
- ② 受け付けた出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
 ただし、入学検定料を払い込んだが、出願しなかった者には、入試課入学試験グループ(電話：011-778-0324)に申し出た場合に、返還します。
- ③ 出願後の入学志願票等の記載事項の変更は、認めません。
ただし、出願後「住所・電話番号」等に変更があった場合は、直ちに「志望校の担当課・グループ」へ連絡してください。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ **国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。**

(3) 受験票の取扱い

ア 受験票の発行

受験票は、令和7年11月14日(金)午前9時00分に出願サイトからダウンロードが可能となります。

受験票が令和7年11月14日(金)午後3時00分までにダウンロードが不可能なときは、「志望校の担当課・グループ」へ電話で問い合わせてください。

イ 試験当日は、各自でA4判用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。

3 入学者選抜の方法

入学者の選抜方法は、25～32ページを参照してください。

4 面接の内容

課程・学科・修学校等		①試験方法 ②試験内容（採点・評価基準）	
教 員 養 成 課 程	札幌校	学校教育専攻 言語・社会教育専攻 理数教育専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数（口頭試問を含む。） 志願者の進路希望に基づき、分野ごとに分けて面接を行う。 志願者が多い場合は、複数の班に分けて面接を行うことがある。 ② 志望動機，目的意識，入学後の勉学意欲等をみる。
		特別支援教育専攻 生活創造教育専攻 芸術体育教育専攻 図画工作・美術教育分野 音楽教育分野 保健体育教育分野 養護教育専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数（口頭試問を含む。） 志願者が多い場合は、複数の班に分けて面接を行うことがある。 ② 志望動機，目的意識，入学後の勉学意欲等をみる。
	旭川校	教育発達専攻 国語教育専攻 英語教育専攻 社会科教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻 生活・技術教育専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数（口頭試問を含む。） 志願者が多い場合は、複数の班に分けて面接を行うことがある。 ② ○教職への関心・意欲・適性 ○態度（話し方，言葉遣い，礼儀等） ○質問内容に即した回答の的確性
		芸術・保健体育教育専攻	音楽分野 美術分野 保健体育分野
釧路校		地域学校教育実践専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数 志願者が多い場合は、複数の班に分けて集団面接を行うことがある。 ② 学校教育への関心，教職への目的意識，適性（人間関係形成能力・コミュニケーション能力等），学習意欲，自己表現力，一般常識等を総合的に評価する。
国際地域学科	函館校	国際協働グループ 地域協働専攻 地域政策グループ 地域環境科学グループ 地域教育専攻	① 個人面接／15分程度／面接員複数 志願者が多い場合は、複数の班に分けて面接を行うことがある。 ② 本校を志望するに当たっての目的意識や入学後の学習意欲，本人の資質等をみる。

課程・学科・修学校等		①試験方法 ②試験内容（採点・評価基準）
芸術・スポーツ文化学科	岩見沢校	音楽文化専攻
		<p>① 個人面接／10分程度／面接員複数 志願者が多い場合は、複数の班に分けて面接を行うことがある。</p> <p>② 目的意識及び入学後の学習意欲をみる。 主実技や音楽芸術についての意欲や関心を問う。</p>

※ 教員養成課程（札幌校，旭川校）の面接（口頭試問を含む。）の内容については，上記のほか次ページを参照願います。

教員養成課程における学校推薦型選抜の面接（口頭試問を含む。）の内容について

学校	専攻名	面接（口頭試問を含む。）の内容	
札幌校	学校教育専攻	子どもの発達，学習，教育に関する現代的課題についての基礎的な知識及び興味・関心について問う。	
	特別支援教育専攻	特別支援教育や障害のある人々についての興味・関心及び現代的課題について問う。	
	言語・社会教育専攻	所属を希望する教科に関する基礎的な知識及び学校教育全般への興味・関心について問う。	
	理数教育専攻	数学又は理科に関する基礎的な知識及び興味・関心について問う。	
	生活創造教育専攻	1. 技術科又は家庭科に関する基礎的な知識及び興味・関心について問う。 2. 持続可能な社会の実現に向けた教育のあり方についての考えを問う。	
	芸術体育教育専攻	図画工作・美術教育分野	図画工作及び美術教育への基礎的な知識，及び興味・関心について問う。
		音楽教育分野	音楽の基礎的な知識，及び音楽と教育への興味・関心について問う。
保健体育教育分野		子どもの体力・運動能力，健康及び競技スポーツ等に関する教育的な現代的課題についての基礎的な知識，及び興味・関心を問う。	
養護教育専攻	高等学校学習指導要領に示されている保健の内容にかかわって，人々の健康課題についての基礎的な知識及び興味・関心について問う。		
旭川校	教育発達専攻	子どもの発達，学習，教育に関する現代的課題についての基礎的な知識及び興味・関心について問う。	
	国語教育専攻	国語に関する基礎的な知識及び国語教育に対する興味・関心について問う。	
	英語教育専攻	英語に関する基礎的な知識及び英語教育に対する興味・関心について問う。また，口頭により英語コミュニケーション能力を測る。	
	社会科教育専攻	社会科（地理・歴史，公民）及び社会的な事象に関する基礎的な知識及び，社会科教育に対する興味・関心について問う。	
	数学教育専攻	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A（図形の性質，場合の数と確率），数学B（数列），数学C（ベクトル）までの範囲の問題を通して，基本的な知識や技能，表現力について問う。	
	理科教育専攻	理科に関する基礎的な知識及び理科教育に対する興味・関心について問う。	
	生活・技術教育専攻	技術分野，家庭分野に関する基礎的な知識，経験及び興味・関心について問う。	
芸術・保健体育教育専攻	音楽分野	音楽に関する基礎的な知識及び音楽教育に対する興味・関心について問う。	
	美術分野	美術に関する基礎的な知識及び美術教育に対する興味・関心について問う。	
	保健体育分野	体育・スポーツ・健康に関する基礎的な知識及び興味・関心について問う。	

5 試験会場

- (1) 志望校の試験会場で受験してください。
 (2) 各校の試験会場は、「試験会場位置図」を参照してください。

6 選考日程

令和7年11月22日（土）～11月23日（日）

試験時間割

課程・学科・修学校等		日 程		11月22日（土）														11月23日（日）														
				9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00														9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00														
教 員 校	札幌	学校教育専攻		面接 10:00～17:00																												
		特別支援教育専攻																														
		言語・社会教育専攻																														
		理数教育専攻																														
		生活創造教育専攻																														
	札幌	芸術体育教育専攻	図画工作・美術教育分野		実技検査・面接 10:00～17:00																											
			音楽教育分野																													
			保健体育教育分野																													
	養護教育専攻		面接 10:00～17:00																													
	養 成 課	旭川	教育発達専攻		面接 9:00～17:00																											
国語教育専攻																																
英語教育専攻																																
社会科教育専攻																																
数学教育専攻																																
理科教育専攻																																
生活・技術教育専攻																																
札幌		芸術・保健体育教育専攻	国語教育専攻		実技検査・面接 9:00～17:00																											
			書道分野																													
			音楽分野																													
		美術分野																														
保健体育分野																																
課程	釧路校	地域学校教育実践専攻		面接 9:00～17:00																												
国際地域学科	函館校	地域協働専攻		面接 9:00～17:00														面接 9:00～17:00														
		国際協働グループ																														
		地域政策グループ																														
地域環境科学グループ																																
地域教育専攻																																
文芸文化・スポーツ科	岩見沢校	音楽文化専攻		実技検査・面接 10:00～17:00														実技検査・面接 10:00～17:00														
		声楽コース																														
		鍵盤楽器コース																														
		作曲コース																														
		管弦打楽器コース																														
音楽教育・音楽文化コース																																

(注) 志願者が多い等の事情により、選考日時を変更することがあります。この場合、志望校（修学校）から、事前に該当者に連絡します。

また、志願者が多い等の事情により、終了時刻が午後5時00分を過ぎることがあります。

学校推薦型選抜（一般）

実施校等	教員養成課程 ー 札幌校																																																															
募集人員	教員養成課程 ー 学校教育専攻 6人																																																															
	教員養成課程 ー 特別支援教育専攻 3人																																																															
	教員養成課程 ー 言語・社会教育専攻 10人																																																															
	教員養成課程 ー 理数教育専攻 5人																																																															
	教員養成課程 ー 生活創造教育専攻 6人																																																															
	教員養成課程 ー 芸術体育教育専攻 10人																																																															
	(図画工作・美術教育分野 4人, 音楽教育分野 2人, 保健体育教育分野 4人)																																																															
	教員養成課程 ー 養護教育専攻 10人																																																															
	※ 選抜の結果, 合格者数が募集人員に満たない場合, その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程の募集人員に加えます。																																																															
出願要件	<p>令和 8 年 3 月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者 [留学 (学校教育法施行規則第 93 条に該当する者) 又は単位制による課程 (単位制高等学校規程に該当する者) により令和 7 年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。] で, 次の各号に該当し, 当該学校長が本課程 (専攻) の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め, 責任をもって推薦するものとします。</p> <p>ただし, 推薦者数は, 1 校につき上記の募集する専攻の区分に応じて各 2 人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員となる強い意欲を持ち, 将来教員として地域の教育・文化に貢献しようとする者 2 豊かな人間関係を築くことができ, 高いコミュニケーション能力を有する者 3 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者 4 合格した場合, 入学を確約できる者 5 大学入学共通テストを必ず受験する者 <p>※ 受験を要する教科・科目は 49 ページの別紙 3 - 1 「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照してください。</p>																																																															
選抜方法等	<p>専攻・分野ごとに表に○を付した選抜内容で実施し, これらにより, 総合的に判定します。なお, 面接は口頭試問を含みます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">専攻・分野 選抜内容</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">学校教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">特別支援教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">言語・社会教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">理数教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">生活創造教育専攻</th> <th colspan="3" style="width: 20%;">芸術体育教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">養護教育専攻</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;">美術教育分野</th> <th style="width: 5%;">図画工作・音楽教育分野</th> <th style="width: 5%;">保健体育教育</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推薦書</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>調査書</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>自己推薦書</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>実技検査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	専攻・分野 選抜内容	学校教育専攻	特別支援教育専攻	言語・社会教育専攻	理数教育専攻	生活創造教育専攻	芸術体育教育専攻			養護教育専攻	美術教育分野	図画工作・音楽教育分野	保健体育教育	推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自己推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	面接	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実技検査						○	○	○	
専攻・分野 選抜内容	学校教育専攻							特別支援教育専攻	言語・社会教育専攻	理数教育専攻		生活創造教育専攻	芸術体育教育専攻			養護教育専攻																																																
		美術教育分野	図画工作・音楽教育分野	保健体育教育																																																												
推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																							
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																							
自己推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																							
面接	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																							
実技検査						○	○	○																																																								

学校推薦型選抜（一般）

実施校等	教員養成課程　－　旭川校																																																																																																												
募集人員	教員養成課程　－　教育発達専攻										13人																																																																																																		
	教員養成課程　－　国語教育専攻（書道分野を含む。）										9人																																																																																																		
	教員養成課程　－　英語教育専攻										5人																																																																																																		
	教員養成課程　－　社会科教育専攻										10人																																																																																																		
	教員養成課程　－　数学教育専攻										7人																																																																																																		
	教員養成課程　－　理科教育専攻										9人																																																																																																		
	教員養成課程　－　生活・技術教育専攻										7人																																																																																																		
	教員養成課程　－　芸術・保健体育教育専攻 （音楽分野3人，美術分野4人，保健体育分野3人）										10人																																																																																																		
	※選抜の結果，合格者数が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程の募集人員に加えます。																																																																																																												
出願要件	<p>令和8年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する者）により令和7年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕で，次の各号に該当し，当該学校長が本課程（専攻，分野）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め，責任をもって推薦するものとします。（生活・技術教育専攻については，令和8年3月高等専門学校第3学年修了見込みの者を含みます。）</p> <p>ただし，推薦者数は，1校につき，上記の募集する専攻の区分に応じて各2人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員となる強い意欲を持ち，将来教員として地域の教育・文化に貢献しようとする者 2 豊かな人間関係を築くことができ，高いコミュニケーション能力を有する者 3 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 4 合格した場合，入学を確約できる者 5 大学入学共通テストを必ず受験する者 <p>※ 受験を要する教科・科目は49ページの別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照してください。</p>																																																																																																												
選抜方法等	<p>専攻・分野ごとに表に○を付した選抜内容で実施し，これらにより，総合的に判定します。なお，面接は口頭試問を含みます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">専攻・分野</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">教育発達専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">国語教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">英語教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">社会科教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">数学教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">理科教育専攻</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">生活・技術教育専攻</th> <th colspan="3" style="width: 15%;">芸術・保健体育専攻</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;">音楽分野</th> <th style="width: 5%;">美術分野</th> <th style="width: 5%;">保健体育分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 20%;">選抜内容</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>推薦書</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>調査書</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>自己推薦書</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>実技検査</td> <td></td><td>○ (注)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>実技に関する活動歴調査書</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 国語教育専攻の募集人員（9人）には，書道分野を含みます。また，書道分野においては，実技検査を実施します。</p>											専攻・分野	教育発達専攻	国語教育専攻	英語教育専攻	社会科教育専攻	数学教育専攻	理科教育専攻	生活・技術教育専攻	芸術・保健体育専攻			音楽分野	美術分野	保健体育分野	選抜内容												推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自己推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	面接	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実技検査		○ (注)							○	○	○	実技に関する活動歴調査書											○
専攻・分野	教育発達専攻	国語教育専攻	英語教育専攻	社会科教育専攻	数学教育専攻	理科教育専攻	生活・技術教育専攻	芸術・保健体育専攻																																																																																																					
								音楽分野	美術分野	保健体育分野																																																																																																			
選抜内容																																																																																																													
推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																		
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																		
自己推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																		
面接	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																		
実技検査		○ (注)							○	○	○																																																																																																		
実技に関する活動歴調査書											○																																																																																																		
その他	生活・技術教育専攻については，専門高校卒業見込みの者又は高等専門学校第3学年修了見込みの者の場合，卒業（修了）学科の専門性により，入学後の所属分野を制限することがあります。（48ページの「X 入学後の教育指導体制について」を参照。）																																																																																																												

学校推薦型選抜（一般）

実施校等	教員養成課程　－　釧路校
募集人員	教員養成課程　－　地域学校教育実践専攻　　45人
	※ 選抜の結果、合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程の募集人員に加えます。
出願要件	<p>令和8年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する者）により令和7年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕で、次の各号に該当し、本課程（専攻）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを当該学校長が認め、責任をもって推薦するものとします。</p> <p>ただし、推薦者数は、1校につき、12人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員となる強い意欲を持ち、将来教員として地域の教育・文化に貢献しようとする者 2 豊かな人間関係を築くことができ、高いコミュニケーション能力を有する者 3 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 4 合格した場合、入学を確約できる者 5 大学入学共通テストを必ず受験する者 <p>※ 受験を要する教科・科目は49ページの別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照してください。</p>
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>なお、「学校推薦型選抜（地域指定）」の合格者は、この「学校推薦型選抜（一般）」の合格者とはなりません。</p>

学校推薦型選抜（一般）

実施校等	国際地域学科 - 函館校 - 地域協働専攻 - 国際協働グループ
募集人員	国際地域学科 - 地域協働専攻 - 国際協働グループ 25人 ※ 選抜の結果、合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程の募集人員に加えます。
出願要件	<p>令和8年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規定に該当する者）により令和7年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕又は高等専門学校第3学年修了見込みの者で、次の各号に該当し、当該学校長が本学科（専攻・グループ）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦するものとします。</p> <p>推薦者数は、1校につき3人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 異なる国や民族・地域・文化・社会との間での協調的かつ現実的な国際協働の現場において必要となる、グローバルな実践的課題解決能力の獲得に十分な意欲、資質及び適性を備えている者 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 合格した場合、入学を確約できる者
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>※学校推薦型選抜における外国語資格保有者に対する特別措置 ケンブリッジ英語検定 140以上、実用英語技能検定 1,950点以上、GTEC 930点以上、IELTS 4.0以上、TEAP 225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上、TOEIC L&R/TOEIC S&W 1,150点以上、国連英検 B級以上のスコア又は等級を所持し、当該スコア又は等級を証明する書類（実用英語技能検定及び国連英検を除き、出願時点より2年以内のもの）を出願書類として提出した者については、学校推薦型選抜の得点に加点して判定を行います。</p>

学校推薦型選抜（一般）

実施校等	国際地域学科 - 函館校 - 地域協働専攻 - 地域政策グループ
募集人員	国際地域学科 - 地域協働専攻 - 地域政策グループ 20人 ※ 選抜の結果、合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程の募集人員に加ええます。
出願要件	<p>令和8年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規定に該当する者）により令和7年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕又は高等専門学校第3学年修了見込みの者で、次の各号に該当し、当該学校長が本学科（専攻・グループ）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦するものとします。 推薦者数は、1校につき3人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団や企業などとの多様なネットワークを構築する能力と、地域の課題解決に取り組む実行力の獲得に十分な意欲、資質及び適性を備えている者 2 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3 合格した場合、入学を確約できる者
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>※学校推薦型選抜における外国語資格保有者に対する特別措置 ケンブリッジ英語検定 140以上、実用英語技能検定 1,950点以上、GTEC 930点以上、IELTS 4.0以上、TEAP 225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上、TOEIC L&R/TOEIC S&W 1,150点以上、国連英検 B級以上のスコア又は等級を所持し、当該スコア又は等級を証明する書類（実用英語技能検定及び国連英検を除き、出願時点より2年以内のもの）を出願書類として提出した者については、学校推薦型選抜の得点に加点して判定を行います。</p>

学校推薦型選抜（一般）

実施校等	国際地域学科 - 函館校 - 地域協働専攻 - 地域環境科学グループ
募集人員	国際地域学科 - 地域協働専攻 - 地域環境科学グループ 15人 ※ 選抜の結果、合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程の募集人員に加えます。
出願要件	<p>令和8年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規定に該当する者）により令和7年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕又は高等専門学校第3学年修了見込みの者で、次の各号に該当し、当該学校長が本学科（専攻・グループ）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦するものとします。</p> <p>推薦者数は、1校につき3人以内とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して、その方法論と技術を身につけようとする態度、探究力、批判的な思考力などの獲得に十分な意欲、資質及び適性を備えている者 2 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3 合格した場合、入学を確約できる者
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>※学校推薦型選抜における外国語資格保有者に対する特別措置 ケンブリッジ英語検定 140以上、実用英語技能検定 1,950点以上、GTEC 930点以上、IELTS 4.0以上、TEAP 225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上、TOEIC L&R/TOEIC S&W 1,150点以上、国連英検 B級以上のスコア又は等級を所持し、当該スコア又は等級を証明する書類（実用英語技能検定及び国連英検を除き、出願時点より2年以内のもの）を出願書類として提出した者については、学校推薦型選抜の得点に加点して判定を行います。</p>

学校推薦型選抜（一般）

実施校等	国際地域学科 — 函館校 — 地域教育専攻
募集人員	国際地域学科 — 地域教育専攻 8人 ※ 選抜の結果、合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
出願要件	<p>令和8年3月高等学校又は中等教育学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規定に該当する者）により令和7年度途中で高等学校又は中等教育学校を卒業した者を含みます。〕又は高等専門学校第3学年修了見込みの者で、次の各号に該当し、当該学校長が本学科（専攻）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦するものとします。</p> <p>推薦者数は、1校につき1人とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの教育問題を国際的視野を持って考え、地域の教育課題を理解し、学校教育をとおして課題解決に取り組む姿勢を身につけようとする意欲がある者 2 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3 合格した場合、入学を確約できる者
選抜方法等	<p>推薦書、調査書、自己推薦書及び面接により、総合的に判定します。</p> <p>※学校推薦型選抜における外国語資格保有者に対する特別措置 ケンブリッジ英語検定 140以上、実用英語技能検定 1,950点以上、GTEC 930点以上、IELTS 4.0以上、TEAP 225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上、TOEIC L&R/TOEIC S&W 1,150点以上、国連英検 B級以上のスコア又は等級を所持し、当該スコア又は等級を証明する書類（実用英語技能検定及び国連英検を除き、出願時点より2年以内のもの）を出願書類として提出した者については、学校推薦型選抜の得点に加点して判定を行います。</p>

実技検査等の内容（札幌校）

1 教員養成課程－芸術体育教育専攻－図画工作・美術教育分野

素描 鉛筆による素描（構成に至った説明の記入時間を含めて3時間で行う。用紙のサイズはB3とする。）：与えられたモチーフのうち2つ以上を構成し、画用紙に描画し、モチーフを構成した意図等の説明（400字～800字程度）を所定用紙に記入するものとする。モチーフは以下のとおりとする。

- ・自分の手（手首から指先までの部分を含む）
- ・静物1（瓶、ペットボトル、コップなどの「透明なもの」）
- ・静物2（果物または野菜）

※鉛筆デッサン用具一式（鉛筆、消しゴムなど）を持参すること。

2 教員養成課程－芸術体育教育専攻－音楽教育分野

	検 査 科 目
1 歌唱（全員）	<p>以下の小学校歌唱共通教材の中から、1曲（検査時に示された曲）を無伴奏で歌唱すること。いずれも<u>2番まで</u>歌唱すること。なお、暗譜の必要はない。</p> <p>「ふじ山」……………（文部省唱歌）：ハ長調 「まきばの朝」……（文部省唱歌）：ハ長調 「こいのぼり」……（文部省唱歌）：ヘ長調 「冬げしき」……………（文部省唱歌）：ヘ長調 「おぼろ月夜」……（文部省唱歌）：ハ長調 「われは海の子」…（文部省唱歌）：ニ長調</p>
2 器楽演奏（全員）	<p>(1) アルトリコーダーまたはソプラノリコーダー（注1）</p> <p>以下の中学校歌唱共通教材から任意に選択した1曲を、無伴奏で演奏すること。いずれも<u>1番のみ</u>演奏すること。なお、暗譜の必要はない。</p> <p>「赤とんぼ」…………… 三木露風作詞／山田耕筰作曲：変ホ長調 「早春賦」…………… 吉丸一昌作詞／中田 章作曲：変ホ長調 「夏の思い出」……… 江間章子作詞／中田喜直作曲：ニ長調 「花」…………… 武島羽衣作詞／滝廉太郎作曲：ト長調 「花の街」…………… 江間章子作詞／團伊玖磨作曲：ヘ長調 「浜辺の歌」…………… 林 古溪作詞／成田為三作曲：ヘ長調</p> <p>(2) ピアノ（注2）</p> <p>J. S. バッハ シンフォニア 第1番BWV787～第15番BWV801（但し、第5番BWV791は除く）の中から、<u>任意の1曲</u>を演奏すること。なお、暗譜の必要はない。</p> <p>（注1）選択した曲の楽譜のコピーを、入学志願票とともに提出すること。また、検査時にはリコーダーを持参すること。</p> <p>（注2）選択した曲の楽譜のコピーを、入学志願票とともに提出すること。</p> <p>（※上靴を持参すること）</p>

3 教員養成課程－芸術体育教育専攻－保健体育教育分野

以下の2領域からそれぞれ1種目（計2種目）を課す。

		検 査 科 目		
領 域		種 目		実 施 方 法
1	器械運動 陸上競技	①マット運動 ②鉄棒 ③ハードル走		左記①～③より 1種目を選択
		ゴール型	①バスケットボール ②サッカー	
2	球 技	ネット型	③バレーボール ④バドミントン	
		ベースボール型	⑤硬式テニス ⑥ソフトボール	


※全ての種目を体育館で実施する。運動ができる服装と体育館用シューズを準備すること。
 また、球技領域においてバドミントンと硬式テニスの選択者はラケット、ソフトボールの選択者はグラブを持参すること。

実技検査等の内容（旭川校）

1 教員養成課程－国語教育専攻－書道分野

- (1) 「楷書」，「かな」の古典を半紙に臨書する。
- (2) 「漢字かな交じりの書」を画仙紙半切2分の1に創作する。
- (3) 「行書」の古典を画仙紙半切に臨書する。

2 教員養成課程－芸術・保健体育教育専攻－音楽分野

検	査	科	目
1	ソルフェージュ（全員） 新曲視唱（下の出題例程度の与えられた旋律の視唱） 《譜例》		
2	楽曲演奏 ピアノ，声楽，管楽器のうち， <u>いずれか一つ</u> を選んで演奏すること。 なお，暗譜の必要はない。		<p>○ピアノ 任意に選択した楽曲1曲（ソナタ，ソナチネ等は任意の一（ひと）楽章）を演奏すること。</p> <p>○声楽（注1） 日本歌曲の中から任意の1曲，イタリア歌曲又はドイツ歌曲の中から任意の1曲を選択し，合計2曲を演奏すること。なお，楽曲の調性は自由とする。</p> <p>「日本歌曲」 荒城の月 …………… 滝 廉太郎（2番まで） 早春賦 …………… 中田 章（2番まで） 浜辺の歌 …………… 成田 為三（2番まで） さびしいカシの木（「愛する歌」より）…………… 木下 牧子</p> <p>「イタリア歌曲」 Intorno all' idol mio ……………Cesti Lasciar d' amarti ……………Gasparini Caro mio ben …………… Giordani</p> <p>「ドイツ歌曲」 Ich liebe dich …………… Beethoven Heidenröslein …………… Schubert</p> <p>○管楽器（注2） 任意に選択した楽曲1曲（楽章が分かれている場合は，任意の一（ひと）楽章）を伴奏なしで演奏すること。</p> <p>（注1）声楽については，選択した曲の伴奏用楽譜を入学志願票とともに提出すること。 （注2）管楽器は，次の範囲とする。 フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，トランペット， トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ （ただし，オーケストラや吹奏楽で使用されている管楽器であれば，上記指定楽器以外の楽器も受験の際の代替楽器として認める。） （注：上靴を持参のこと。）</p>

3 教員養成課程－芸術・保健体育教育専攻－美術分野

実技検査は，鉛筆による素描（3時間で行う）。モチーフは静物。用紙の大きさは，およそ515mm×364mm。※鉛筆デッサン用具一式を持参すること。

4 教員養成課程－芸術・保健体育教育専攻－保健体育分野

日本スポーツ協会策定の運動適性テスト（立ち幅とび，上体起こし，腕立伏臥腕屈伸，時間往復走，5分間走）を実施する。

実技検査等の内容（岩見沢校）

1 芸術・スポーツ文化学科—音楽文化専攻

検 査 科 目
<p>1 ソルフェージュ（全員）</p> <p>(1) 単旋律の聴音（8小節程度）</p> <p>(2) コールユーブンゲン第1巻原書番号No. 50～No. 68, No. 73～ No. 80の中から当日指定された1曲を歌唱する。</p> <p>(3) 楽典の音程, 拍子, 調, 音階, 楽語等に関する筆記問題</p> <p>2 主実技（次の(1)～(5)の中から一つのコースを選択すること。）</p> <p>(1) 声楽コース 自由曲 任意に選択した2曲を提出し, 暗譜でカットなしで歌唱すること。 (レチタティーヴォ等も含む。) (注) 伴奏用楽譜を入学志願票とともに提出すること。また, 試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが, 志願者の評価に不利になるものではない。</p> <p>(2) 鍵盤楽器コース 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。ソナタであれば一(ひと)楽章。(繰り返しはしない。) (注) 試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが, 志願者の評価に不利になるものではない。</p> <p>(3) 作曲コース 次のアからウの中から二つ選択すること。(アは必ず選択すること。) ア 自作品の提出 (注) ・作曲コースの実技検査には, 提出作品についての質問を含む。 ・作品の種類, 大きさ及び曲数は問わない。 ・作品の提出は楽譜によるものとする。音源等があれば提出してもよい。 ・作品は, 入学志願票とともに提出すること。 イ 和声ソプラノ課題 (非和声音と転調を含む。) ウ 和声バス課題 (非和声音を含まない。転調を含む。)</p> <p>(4) 管弦打楽器コース</p> <p>① 木管楽器・金管楽器 ア 音 階 すべての管楽器は, 譜例に従い長調全調から当日指定された調を暗譜で演奏すること。 なお管楽器のアーティキュレーションは, スタカート, テヌート, レガートから当日指定する。(譜例は, 36ページの譜例集①による。) イ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。(エチュードは除く。) (注) 試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが, 志願者の評価に不利になるものではない。 (注) 同属の代替楽器での受験を認める場合がある。詳細は問い合わせること。</p> <p>② 弦楽器 ア 音 階 ヴァイオリンは, 音階Carl Flesch: Scale Systemから#・b二つまでの長調, 短調の第5番から1つの調を当日指定する。指定された音階を暗譜で演奏すること。運弓法(ボーイング)は, ハ長調第5番に準ずること。 ヴィオラ, チェロ, コントラバスは, #・b二つまでの長調, 短調(和声的短音階)の音階を譜例に従い暗譜で演奏すること。調は当日指定する。(譜例は36～37ページの譜例集②, ③, ④による。) イ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。(エチュードは除く。)</p>

(注) 試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

(注) ヴィオラ志願者はヴァイオリンで受験することができる。その場合は、志願票の楽器名はヴィオラと記載し、ア及びイの試験はヴァイオリンの課題曲を演奏する。

③ 打楽器 (小太鼓, マリンバの中から一つを選択)

ア 基礎課題

- ・小太鼓: 基礎打ち 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, 7つ打ち, 9つ打ち, ロール打ち (pp< ff >pp) の中から当日指定する。
- ・マリンバ: 長調全調の音階を譜例に従い, 暗譜で演奏すること。調は当日指定する。(譜例は37ページの譜例集⑤による。)

イ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。(エチュードは除く。)

(注) 試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

(注) 小太鼓は各自持参すること。ただし、マリンバ(4オクターブ)は、本学で楽器を用意する。

※ ①～③の主実技試験は、全て伴奏なしで行う。

(5) 音楽教育・音楽文化コース

- ・自由曲の暗譜での演奏(ピアノ, 声楽, 和楽器, 民族楽器の中から一つを選んで演奏すること。)

注: ①楽器はピアノのみ大学で準備する。その他の楽器については持参すること。なお、大規模な楽器の搬入のために助手を同行することや本学で助手を用意することはできない。

②声楽の場合は、伴奏用楽譜を入学志願票とともに提出すること。

③声楽以外は独奏とする。

④ピアノの場合、ソナタであれば、一(ひと)楽章を暗譜で演奏すること。

⑤自作作品の演奏や弾き語りも可能である。自作作品は、楽譜を入学志願書とともに提出すること。なお、弾き語りとは、ピアノで又はピアノの代替楽器として和楽器, 民族楽器を伴奏楽器に使っての歌唱も認めることとする。

⑥実技検査選択票に、曲名, 作曲者名を記入すること。

⑦試験監督の指示により演奏途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

《管楽器, 弦楽器及び打楽器の譜例》

①木管楽器・金管楽器



初めから終わりまで一息で演奏すること。
ダイナミクス及びテンポは自由。

②ヴィオラ



③チェロ

♩ = 60 ~ 80

Two staves of musical notation for Cello. The first staff is in 6/8 time and contains a complex melodic line with many sixteenth notes and slurs. The second staff continues the piece with several triplet markings (indicated by a '3' above the notes) and concludes with a double bar line.

④コントラバス

♩ = 50 ~ 60

Two staves of musical notation for Contrabass. The first staff is in 6/8 time and features a steady melodic line. The second staff changes to 3/4 time and continues the melodic line, ending with a double bar line.

⑤マリンバ

♩ = 100 ~ 132

Two systems of musical notation for Marimba. The first system is in 6/8 time and shows a rhythmic pattern with eighth notes in both the treble and bass staves. The second system continues the piece, featuring a repeat sign and ending with a double bar line.

学校推薦型選抜（地域指定）募集要項

1 募集人員

課 程	修学校	専 攻	募集人員
教員養成課程	釧路校	地域学校教育実践専攻	25人

※ 本学が定める合格基準に満たない場合は、不合格とします。

※ 合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。

2 出願方法等

上記「募集人員」で示す課程・修学校・専攻に出願することができます。

この場合、本学の釧路校以外の修学校の「学校推薦型選抜（一般）」又は他の国公立大学の学校推薦型選抜には、出願できません。

※ 釧路校の「学校推薦型選抜（地域指定）」と釧路校の「学校推薦型選抜（一般）」を併せて出願することができます。（入学検定料は、それぞれ払い込んでください。）

ただし、この「学校推薦型選抜（地域指定）」の合格者は、釧路校の「学校推薦型選抜（一般）」の合格者とはなりません。

(1) 出願要件

令和8年3月高等学校卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する者）により令和7年度途中で高等学校を卒業した者を含みます。〕で、次の各号に該当し、本課程（専攻）の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを当該学校長が認め、責任をもって推薦するものとします。

なお、1校あたりの推薦者数について、上限はありません。

- ① 当該学校は、北海道の日高振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局、オホーツク総合振興局、十勝総合振興局、釧路総合振興局、根室振興局管内の高等学校であること
- ② へき地・小規模校教育等に高い関心と強い意欲を持ち、将来教員として出願要件①の管内に定着する意志の強い者
- ③ 豊かな人間関係を築くことができ、高いコミュニケーション能力を有する者
- ④ 調査書の学業成績の全体の学習成績の状況が3.8以上の者又は特定の教科に優れた成績を有する者
- ⑤ 合格した場合、入学を確約できる者
- ⑥ 大学入学共通テストを必ず受験する者

本学が指定した大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験しなかった場合には、合格が取り消されます。受験を要する教科・科目は49ページの別紙3-1「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」を参照ください。

(2) 出願手続

本学ホームページにて、インターネット出願（以下「出願サイト」という。）の具体的な手順を説明しています。

出願前に必ずご覧ください。

(https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00000200/00000285/20250918_%E5%87%BA%E9%A1%98%E3%81%AE%E6%B5%81%E3%82%8C)

出願サイトによる出願及び出願書類の郵送（または持参）の両方が必要となります。出願サイトの出願手続き及び、出願書類の郵送（または持参）の両方が完了しないと出願受付にはなりませんのでご注意ください。

○事前に準備が必要なもの

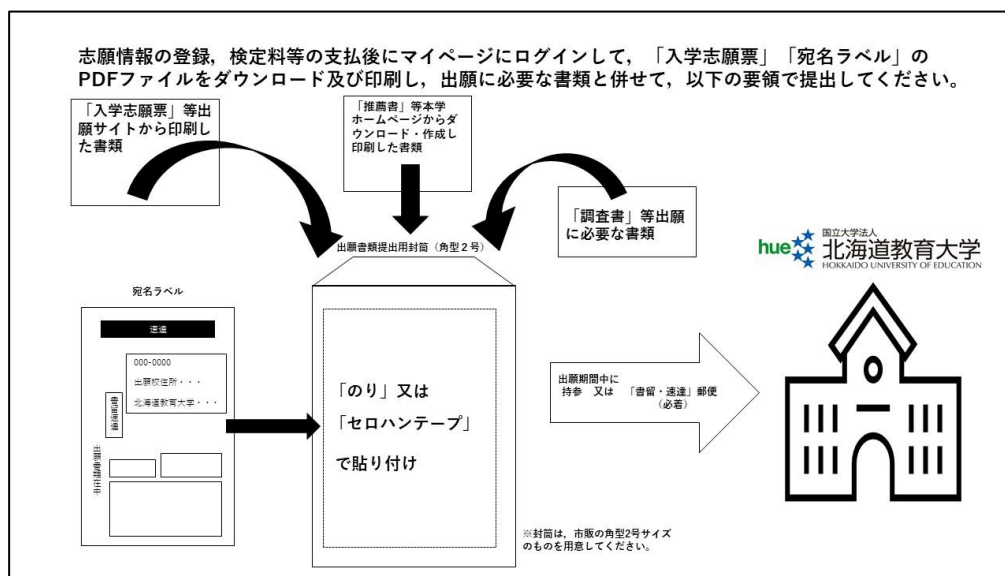
- ・メールアドレス（出願サイト登録用）
- ・提出用出願書類等出力環境（プリンターなど）



○インターネット出願登録開始（マイページへの登録等）

出願サイトURL (<https://e-apply.jp/ds/hokkyodai-net/>)

○システムについてのお問い合わせ先 0120-202079（サポートセンター）



ア 出願書類

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

出 願 書 類	注 意 事 項
1 入 学 志 願 票 [本学所定様式]	出願サイトにて、必要事項入力後に生成される様式を印刷してください。（A4判片面印刷としてください。）
2 調 査 書	在学学校長が作成し、厳封されたものを提出してください。 ※ 作成にあたっては、記載内容に誤りや不足のないよう、正確に記入してください。 ※ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書又は成績通信簿を提出してください。
3 推 薦 書 [本学所定様式]	次の各項目については、抽象的・概評的な表現ではなく、具体的事実に基づいて記入してください。

	<p>「推薦する理由」欄 適性があると認められる理由等を明確に記入してください。</p> <p>「学業所見」欄 学業について、調査書と重複しない特記すべき所見を記入してください。</p> <p>「人物所見」欄 長所・短所等について、調査書と重複しないよう具体的に記入してください。</p> <p>「その他の参考事項（教科外の諸活動・特技・資格・表彰等）」欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科外の諸活動：各学年でのホームルームにおける役職名・活動状況，生徒会役員等全校的な役職名・学年・活動状況，クラブ活動における所属クラブ名・活動状況 (役職名，部員数，大会等の出場歴，成績，記録等) 並びにボランティア活動等を記入してください。 ・ 特技・資格・表彰等：英検〇級，柔道〇段，スキー〇級等の資格や本人の特技又は表彰歴を記入してください。 ・ その他特記事項：学校外の活動等を調査書と重複しない項目について，特記すべき事項を記入してください。 <p>※ 推薦書の様式は，本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp) からダウンロードできますので，データを入力し，印刷したものを提出してください。なお，ダウンロードした様式の行数を増やすなど，改変して使用しないよう留意願います。また，A4両面で印刷のうえ，公印を押印して提出してください。</p>
4 自己推薦書 [本学所定様式]	<p>本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp) から様式をダウンロードして，作成してください。(A4判両面印刷としてください) なお，作成にあたっては，行数等の様式の変更は行わず，自分自身で考えて作成してください。 また，生成AIの使用は認めません。</p>

※本学ホームページからダウンロードし作成する出願書類については，指示がある場合を除き，PC入力により作成してください。

イ 入学検定料の支払い方法について

入学検定料 17,000円

インターネット出願サイトに表示される入学検定料支払画面に従い，お支払いください。

なお，支払方法は以下のとおりです。

- ① クレジットカード (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFJカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード)
- ② ネットバンキング (Pay-easy (ペイジー) 決済等)
- ③ コンビニエンスストア (ローソン, ファミリーマート, セブン・イレブン, セイコーマート, デイリーヤマザキ, ヤマザキデイリーストアー, ミニストップ)

※入学検定料の支払いには，別途手数料がかかります。手数料は，支払人負担となります。

ウ インターネット出願登録及び入学検定料等払込開始日

令和7年10月28日(火)午前10時00分～

エ 出願受付期間

令和7年11月4日(火)～11月10日(月) (必着)

出願書類は「志望する修学校」へ「書留・速達」郵便又は持参にて提出してください。

ただし，令和7年11月11日(火)以降に到着した場合でも，11月8日(土)までの消印がある

ものは、受け付けます。

持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。(土・日・祝日を除きます。)

なお、全ての書類が本学に到着し、不備等がないことが確認できた時点をもって出願手続完了となります。ネットワークのトラブル等による出願の遅れには対応はできませんので、時間に余裕を持った出願をお願いします。

オ 出願受付場所

「釧路校教育支援グループ」へ出願書類を提出してください。

修学校	郵便番号	所在地	担当	電話
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目15番55号	教育支援グループ	0154-44-3230

カ 注意事項

- ① 「学校推薦型選抜(一般)」と「学校推薦型選抜(地域指定)」に併せて出願する場合は、別々に出願書類を揃え、17ページ及び40ページの「(2)出願手続」の要領でそれぞれ提出してください。(一つの封筒にまとめて出願することはできません。)
- ② 出願書類に不備がある場合は、受理しないので注意してください。
- ③ 受け付けた出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
ただし、入学検定料を払い込んだが、出願しなかった者には、入試課入学試験グループ(電話：011-778-0324)に申し出た場合に、返還します。
- ④ 出願後の入学志願票等の記載事項の変更は、認めません。
ただし、出願後「住所・電話番号」等に変更があった場合は、直ちに「釧路校教育支援グループ」へ連絡してください。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

(3) 受験票の取扱い

ア 受験票の発行

受験票は、令和7年11月14日(金)午前9時00分に出願サイトからダウンロードが可能となります。

受験票が令和7年11月14日(金)午後3時00分までにダウンロードが不可能なときは、「釧路校教育支援グループ」へ電話で問い合わせてください。

イ 試験当日は、各自でA4判用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。

3 入学者選抜の方法

入学者の選抜方法は、推薦書、調査書、自己推薦書、個人面接、集団面接(討論)により、総合的に判定します。

4 面接の内容

●集団面接（討論）

課程・修学校・専攻		①試験方法 ②試験内容（採点・評価基準）
教員養成課程	鉏路校 地域学校教育実践専攻	<p>① 集団面接（討論）／30分程度／面接員複数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題図書に関するグループ討論 （以下の課題図書を試験当日までに入手し、読んでおくこと。また、当日持参すること。※電子書籍不可） 書名 教えから学びへ 著者 汐見 稔幸 発行所 河出書房新社 判型 河出新書 定価 900円+税 ISBN 978-4-309-63136-3 <p>② 自己表現力，理解力，他人の意見を正しく聞くことのできる能力等を総合的に評価する。</p>

●個人面接

課程・修学校・専攻		①試験方法 ②試験内容（採点・評価基準）
教員養成課程	鉏路校 地域学校教育実践専攻	<p>① 個人面接／15～20分程度／面接員複数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願者が多い場合には，複数の班に分けて集団面接を行うことがある。 <p>② 以下の点について，総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職への目的意識（進学目的・志望動機）が明確で，学習意欲が高い ・へき地・小規模校教育等に高い関心と強い意欲を持つ ・地域の学校教育に関わろうとする姿勢を持つ ・地域の活動や環境に対する深い理解や関心を持つ ・教科に対する興味・関心を持つ ・人間関係形成能力・コミュニケーション能力等の将来教員となるにふさわしい資質を持つ ・一般常識や自己表現力を身につけている

5 試験会場

- (1) 「鉏路校」で受験してください。
- (2) 試験会場は，「試験会場位置図」を参照してください。

6 選考日程

令和7年11月23日（日）

試験時間割

日程		11月23日（日）								
課程・修学校・専攻		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
教員養成課程	鉏路校 地域学校教育実践専攻			集団面接（討論）			個人面接			
				9:00～12:00			13:00～17:00			

※ 志願者数によって若干時間を変更する可能性があります。

**学校推薦型選抜（一般）及び
学校推薦型選抜（地域指定）**

共通事項

I 障がいがある等の入学志願者の事前相談等

障がいがある等の理由により、受験上及び修学上に不安を感じる、あるいは配慮を必要とする志願者に対して、事前相談を実施いたしますので、令和7年10月10日（金）までに「志望校の担当課・グループ」へお申し出ください。

また、事前相談の結果、さらに詳細な相談が必要となった場合には、原則として以下のイのように対応いたします。

ア 事前相談

電話等で相談を承ります。その際、医師の診断書等を提出していただく場合があります。

イ 詳細な相談

本学において、本学職員と、志願者又はその立場を代弁し得る出身高等学校関係者等との間で、面談等を実施いたします。

なお、事前相談や詳細な相談は、適切な受験環境を整えるため、あるいは、入学後の修学環境を充実させるためのものであり、合否判定には一切影響いたしません。

障がいがある等の入学志願者数・入学者数（全選抜合計）

入学年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
志願者数	3名	0名	5名
障がい区分	肢体不自由者 聴覚障害		視覚障害 聴覚障害 その他
入学者数	2名	0名	5名
障がい区分	肢体不自由者 聴覚障害		視覚障害 聴覚障害 その他

受験における特別な配慮（例）

- ・車いすの持込、利用の許可
- ・別室の設定
- ・拡大問題冊子の配付
- ・試験時間の延長
- ・筆記補助具の持込、利用許可
- ・トイレに近い試験室を設定
- ・書見台、ルーペ等の持込許可

II 受験上の注意

- (1) 試験当日は、受験票、筆記用具及び指示されたものを持参して、**後日お知らせする所定の時刻までに集合**してください。
- (2) 試験開始後、30分以上遅刻したときは、受験を認めません。
- (3) 試験に関する具体的な注意事項については、志望校から指示します。

III 入学試験における不正行為について

本学のすべての入学試験において、以下の不正行為が確認されましたら、警察に被害届を提出する場合があります。

- ・受験票等に本人以外の写真を貼ることや解答用紙等に本人以外の氏名・受験番号を記入すること。
- ・カンニング（試験時間中、試験に関係するメモやコピー及び書籍類などを机上等に置いたり見たりすること、他の受験者の答案等を見ることや答えを教わるなど）
- ・他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ・配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・試験開始前、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ・試験時間中、試験監督から指示された物以外の所持品を出したり触っていること。
- ・試験時間中、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ・スマートグラ

ス)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。(ただし、これらの使用が認められている場合を除く。イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとみなします。)

- ・試験終了時、試験監督から解答をやめるよう指示されたが、筆記用具を持っていたり解答を続けること。
- ・その他、入学試験の業務を妨げる行為を行うこと。

これら不正行為を行った受験者については、試験時間中に確認された場合はその時点から受験が取り止めとなり、当該入学試験の成績は無効となります。

また、試験終了後に確認された場合は選考の対象となりません。

IV 合格者の発表

令和7年12月5日(金) 午前9時00分

合格者の発表については、出願サイトにより本人に可否を通知する他、文書により在学学校長あてに通知します。

なお、合格者の受験番号を発表時刻以降に本学ホームページに掲載します。

また、可否についての電話等による問い合わせには、応じません。

北海道教育大学ホームページURL <https://www.hokkyodai.ac.jp/>

※ 本学ホームページが表示されましたら、ブラウザの更新ボタンを押してからご覧ください。

なお、不合格となった者については、当該在学学校長あてに文書で通知します。

※ 教員養成課程(札幌校、旭川校、釧路校)の合格者について、本学が指定した大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験しなかった者については、合格が取り消されます。

※ 教員養成課程(札幌校、旭川校、釧路校)の合格者は、大学入学共通テスト成績請求情報を「チケット方式」でご提供ください。

「国公立推薦型選抜用」を発行し、合格通知と同日に掲載する「成績請求チケット提出シート」の所定の欄に貼付し、必要事項を記入の上、令和7年12月17日(水)～12月23日(火)(※必着)までに志望校の担当課・グループへ郵送(書留)又は持参してください。

持参の場合の受付時間は、午前9時00分から午後5時00分までです。(土・日・祝日を除きます。)

V 入学辞退、不合格になった場合の一般選抜(個別学力検査等)への出願

(1) 入学辞退について

ア 学校推薦型選抜合格者は、原則として、入学辞退を認めません。

ただし、特別の事情があり、入学を辞退する場合は、令和8年2月18日(水)までに推薦高等学校長から、本学学長あてに「学校推薦入学辞退願」(様式自由)を提出し、許可を得なければなりません。

イ 学校推薦型選抜合格者は、本学及び他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う国公立大学・学部を除く。)を受験しても、合格者とはなりません。

ただし、本学へ「学校推薦入学辞退願」を提出し、許可された者を除きます。

※ 公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>)参照

(2) 不合格になった場合の一般選抜(個別学力検査等)への出願について

ア 選考の結果、不合格になった場合には、国公立大学・学部の「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つ、公立大学・学部の「中期日程」から一つの合計三つの国公立大学(本学を含む。）・学部に出願することができます。

イ 本学の一般選抜に出願する場合は、本学ホームページから学生募集要項(一般選抜)を入手し、令和8年1月26日(月)～2月4日(水)までに提出してください。

VI 入学手続

合格者の入学手続については、後日案内する入学手続システムにより行っていただきます。
入学手続の詳細(提出書類及び納入金の納入方法等)については、合格者へ別途お知らせします。

(1) 入学手続期間

令和8年2月11日(水)～2月18日(水)※必着

入学手続システムで指示された方法で入学手続・入学料の支払いを行い、併せて、必要な書類を「書留・速達」便により、入学手続期間内に必ず到着するよう、送付してください。

※ 持参の場合の受付時間は、午前9時00分から午後5時00分までです。(土・日・祝日を除きます。)

(2) 提出書類

合格通知時に指示した書類及び次の書類

国際地域学科(函館校)、芸術・スポーツ文化学科(岩見沢校): 大学入学共通テストに出願している者は、国公立大学入学確認票

(3) 納 入 金

入学料 282,000円

- (注) 1 上記の金額は、現行の金額であり、入学時に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
2 入学料は、入学手続期間内に納入してください。
3 納入した入学料は、返還しません。
4 入学料については、減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は、合格者あてに別途通知します。

VII 授 業 料

授業料 535,800円(年額)

- (注) 1 上記の金額は、現行の金額であり、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
2 授業料については、減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は、合格者あてに別途通知します。

VIII 入学時における麻しん(はしか)・風しん等ワクチン接種歴の確認について

合格となった場合、入学前にWeb上の「健康調査票」の中で、麻しん(麻疹)、風しん、水痘(みずぼうそう)、ムンプス(流行性耳下腺炎・おたふくかぜ)のワクチン接種歴をお尋ねいたします。それぞれのワクチンの接種回数、接種年月日を、母子健康手帳やワクチン接種証明書などにより確認し、ご回答ください。

本学では麻しん・風しんワクチンを2回接種していることを推奨しています。

麻しん・風しんワクチンの2回接種には、次のような場合があります。

- ・MRワクチン2回
- ・MRワクチン1回、麻しんワクチン1回、風しんワクチン1回
- ・麻しんワクチン2回、風しんワクチン2回

※MRワクチンとは、麻しん風しん混合ワクチンです。

IX 受験に関する問い合わせ

受験に関する問い合わせは、必ず志願者本人が行ってください。(14ページの問い合わせ先を参照してください。)

X 入学後の教育指導体制について

本学では入学後の教育指導を円滑に行うために、次に示す専攻にあつては「分野」の単位に所属することになります。

なお、所属の方法、時期等については、専攻ごとに異なるため、入学後にガイダンス等で説明をします。

課程	修学校	専攻名	分野名
教員養成課程	札幌校	学校教育専攻	教育学分野, 教育心理学分野
		言語・社会教育専攻	国語教育分野, 英語教育分野, 社会科教育分野
		理数教育専攻	算数・数学教育分野, 理科教育分野
		生活創造教育専攻	総合技術教育分野, 家庭科教育分野
	旭川校	教育発達専攻	教育学分野, 教育心理学分野, 幼児教育分野, 特別支援教育分野
		生活・技術教育専攻	家庭分野, 技術分野 ※ 専門高校卒業見込みの者又は高等専門学校第3学年修了見込みの者の場合, 卒業(修了)学科の専門性により入学後の所属分野を制限することがあります。
	釧路校	地域学校教育実践専攻	学校教育実践分野, 発達教育実践分野, 地域環境教育実践分野, 国語教育実践分野, 社会科教育実践分野, 英語教育実践分野, 数学教育実践分野, 理科教育実践分野, 美術教育実践分野, 音楽教育実践分野, 家庭科教育実践分野, 保健体育科教育実践分野

(注) 上記以外の学科・専攻等は、16ページの「学部・課程・学科・修学校等」の区分が教育指導体制となります。

XI 入学試験成績等の開示について

(1) 開示請求の手続き等

次の要領により開示します。

- ・開示期間 令和8年4月13日(月)から5月15日(金)まで
- ・開示方法 出願サイトで試験成績を開示します。

詳細については、後日お知らせします。

(2) 開示内容

- ア 合格ランク
- イ 総合評価

XII 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「個人情報保護に関する基本方針」及び「国立大学法人北海道教育大学個人情報等取扱規則」を定め、個人情報の保護に取り組んでいます。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜(出願処理, 選抜実施), ②合格者発表, ③入学手続き, ④入学者選抜方法等に関する調査・研究業務, ⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) その他本学における個人情報の取扱いにつきましては、本学のホームページをご覧ください。

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学部・課程		大学入学共通テストの利用教科・科目名	
		教科	科目名等
教 育 成 課 部 程	教 員 養 成 課 程	〔7教科8科目〕	
		国語	「国語」①
		地理歴史	「歴史総合, 世界史探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「地理総合, 地理探究」から①
		公民	「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」から①
		数学	「数学Ⅰ, 数学A」①
			「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」①
		理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から① ※「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つの出題範囲から2つを選択解答
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から①
		情報	「情報Ⅰ」①
		又は	
		〔6教科8科目〕	
		国語	「国語」①
		地理歴史	「歴史総合, 世界史探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「地理総合, 地理探究」
		公民	「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」
		数学	「数学Ⅰ, 数学A」①
			「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」①
		理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から② ※「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つの出題範囲から2つを選択解答 (ただし, 「物理基礎」と「物理」などのように, 同一名称を付した科目の選択は認めません)
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から①
		情報	「情報Ⅰ」①

※ ○の中の数字は, 選択する科目数を示します。

※ 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については, 次ページの「大学入学共通テストの受験教科・科目の取扱いについて」に留意してください。

大学入学共通テストの受験教科・科目の取扱いについて

〈教科・科目の取扱い〉

「地理歴史」、「公民」及び「理科」から計3科目の成績を採用します。なお、「地理歴史」及び「公民」から計2科目を受験する場合は、必ず「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目を受験してください。

- i 「地理歴史」、「公民」及び「理科」で計3科目を受験した場合
「地理歴史」、「公民」それぞれ1科目及び「理科」1科目の計3科目又は「地理歴史」、「公民」いずれか1科目及び「理科」2科目の計3科目を受験した場合は、「地理歴史」、「公民」において本学が指定していない科目（「地理総合/歴史総合/公共」）を受験した場合、合格が取り消されますので、十分に留意してください。
- ii 「地理歴史」、「公民」それぞれ1科目及び「理科」2科目の計4科目を受験した場合
「地理歴史」又は「公民」の第1解答科目及び「理科」の第1解答科目を採用し、次に、残りの科目のうちから高得点の1科目の成績を採用します。
なお、「地理歴史」、「公民」において、本学が指定していない科目（「地理総合/歴史総合/公共」）を第1解答科目として受験した場合、合格が取り消されますので、十分に留意してください。

北海道教育大学入学検定料の特別措置に関する規則

制 定 令 和 2 年 3 月 31 日
令 和 元 年 規 則 第 40 号

(趣旨)

第1条 この規則は、災害により被災した者の経済的負担を軽減し、進学機会を確保するため、北海道教育大学（以下「本学」という。）の学部、大学院又は養護教諭特別別科の入学者選抜試験（研究生、科目等履修生又は聴講生に係るものを除く。）の検定料（以下「入学検定料」という。）に対する特別措置を定める。

(特別措置)

第2条 次の各号のいずれかに該当する入学志願者であつて学長の許可を受けた者に対しては、納入された入学検定料の全額（ただし、第6号に掲げる者については、学長が別に定める額）を返還する。

- (1) 東日本大震災により自ら又は生計維持者（以下「入学志願者等」という。）の自宅家屋が全壊（流失を含む。）、大規模半壊又は半壊した者
- (2) 東日本大震災により生計維持者が死亡し、又は行方不明となっている者
- (3) 東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故により、同事故発生時における入学志願者等の居住地が、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
- (4) 次条の提出期限の日から過去3年以内に発生した次に掲げる災害により、入学志願者等の自宅家屋が全壊（流失を含む。）、大規模半壊又は半壊した者
 - ア 入学志願者等の居住地に災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用された災害
 - イ 激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和37年法律第150号）に基づき激甚災害に指定された災害
- (5) 生計維持者が、前号の災害により死亡し、又は行方不明となっている者
- (6) 学長が特に指定した者

(申請手続)

第3条 前条の許可の申請は、許可を受けようとする入学志願者が、次の各号に掲げる書類又は写し（ただし、前条第6号に該当する者に係る書類については、別に定める。）を添えて、別に大学が定める提出期限の日までに、入学検定料返還許可申請書（別記様式）を学長に提出することにより行うものとする。

- (1) 前条第1号又は第4号に該当する場合 被災証明書
- (2) 前条第2号又は第5号に該当する場合 生計維持者の死亡又は行方不明を証明する書類
- (3) 前条第3号に該当する場合 被災証明書

(許可の取消し)

第4条 前条により提出された書面に虚偽の記載があり、又は重要な事実の記載が欠けていることが判明したときは、学長は、第2条の許可を取り消す。

2 前項により許可を取り消された場合は、返還された入学検定料を改めて納付しなければならない。

(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、入学検定料に対する特別措置に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、令和2年3月31日から施行する。

なお、本学では上記の規則に基づき、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、災害救助法等が適用されている地域において被災した入学志願者に、入学検定料返還の特別措置を行っています。詳細は次のURLの【入試に関するお知らせ】に掲載していますので、ご確認いただき、該当する方は申請してください。

本学ホームページURL:<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/>

「北海道教育大学基金」による奨学金について

本学は、次代を担う子どもたちを教育する優れた教員を養成する「教員養成課程」、国際的視野をもって地域を活性化できる人材を養成する「国際地域学科」及び芸術・スポーツ文化を多面的に追求し、地域活性化に貢献できる人材を養成する「芸術・スポーツ文化学科」の一つの課程と二つの学科を設置しています。人材の養成には、教育体制や教育環境の整備の他に、安心して自ら勉学に励み優れた資質・能力を身につけようとする者に対する財政的な支援策が求められています。

「北海道教育大学基金」は、企業、同窓会、地域の方々、本学教職員などからの寄附金により設立されたもので、寄附者の方々の意向に基づき、その原資及び果実を元に、成績優秀な学生や経済的事由により修学困難な学生を対象とした奨学金給付事業を行っています。

詳細は、入学後にお知らせします。

高等教育の修学支援制度（入学料・授業料の減免、給付奨学金）

令和2年4月から国の新しい修学支援制度がはじまり、入学料・授業料の減免（免除又は減額）と給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）の2つの支援をあわせて受ける制度となります。

この支援制度は、世帯の収入などの要件とともに、高校や大学の成績だけでなく、明確な進路意識と強い学びの意欲、学修状況等をしっかりと確認した上で学生に対して支援するものです。

※世帯の収入などの要件により、区分に応じて以下のとおり入学料と授業料の免除又は減額と、自宅、自宅外通学の状況により、奨学金が給付されます。

【単位：円】

	入学料減免額	授業料減免額		給付奨学金給付額（月額）	
		（半期分）	（年 額）	自宅生	自宅外生
第Ⅰ区分 （満額の支援）	282,000	267,900	535,800	29,200 (33,300)	66,700
第Ⅱ区分 （2/3の支援）	188,000	178,600	357,200	19,500 (22,200)	44,500
第Ⅲ区分 （1/3の支援）	94,000	89,300	178,600	9,800 (11,100)	22,300
第Ⅳ区分				7,300 (8,400)	16,700
多子世帯	282,000	267,900	535,800	家計状況により 上記月額のいずれかまたは無し	家計状況により 上記月額のいずれかまたは無し

※給付奨学金について、生活保護世帯(受けている扶助の種類を問いません。)で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

※多子世帯については、子ども3人以上を扶養する世帯の学生が対象となり、入学料及び授業料は全額免除となりますが、給付奨学金の給付額については、家計状況により別途決定されます。

※第Ⅰ区分：申請者と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること

第Ⅱ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること

第Ⅲ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること

第Ⅳ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が51,300円以上～154,500円未満であること

※ふるさと納税、住宅ローン控除等の税額控除等の適用を受けている場合、各区分に該当しない場合があります。

入学料・授業料の徴収猶予制度

経済的理由により、入学料・授業料の納入が困難な場合、徴収猶予する制度があります。

日本学生支援機構奨学金について（貸与奨学金）

本学では、日本学生支援機構奨学生募集について、各キャンパスで周知しています。

◇ 奨学金の種類と募集時期等（2025年度採用者）

奨学金の種類	採用の種類	募集時期	貸与月額	
			自宅	自宅外
第一種奨学金 【無利子貸与】	定期採用	4・9月		
	緊急採用	随時	2万円・3万円 4万5千円から選択	2万円・3万円・4万円 5万1千円から選択
第二種奨学金 【有利子貸与】	定期採用	4・9月	2万円～12万円から1万円単位で選択	
	緊急採用	随時		
併用貸与	第一種奨学金申込みの学力基準を満たしており、経済的理由があれば、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることができます。			
入学時特別増額貸与	第1学年入学者又は編入学者で条件を満たす者に対して、希望により貸与月額の初回振込時に10～50万円(10万単位)の金額から選択して増額貸与を受けることができます。			

【定期採用】

4月・9月頃に本学の各所属キャンパスにおいて申込を受け付けています。

【緊急採用・応急採用】

家計の急変(主たる家計支持者の失職、破産、事故、病気もしくは死亡等。又は火災、風水害等の災害等)によって奨学金を緊急に必要とする者に対して、随時募集を行っています。

◇ 本学の奨学生数

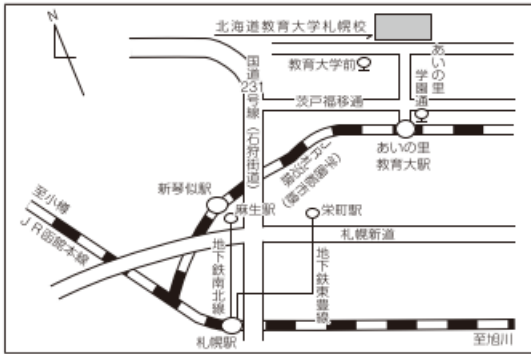
令和7年3月1日現在

校名	学年・種別	1年		2年		3年		4年		計	
		第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種
札幌校	学生数	281人		275人		284人		303人		1143人	
	奨学生数	44人	43人	43人	40人	55人	27人	32人	32人	174人	142人
	%	31.0%		30.2%		28.9%		21.1%		27.6%	
旭川校	学生数	285人		285人		276人		292人		1138人	
	奨学生数	67人	57人	71人	55人	72人	46人	58人	60人	268人	218人
	%	43.5%		44.2%		42.8%		40.4%		42.7%	
釧路校	学生数	199人		182人		185人		196人		762人	
	奨学生数	52人	41人	57人	49人	52人	44人	44人	45人	205人	179人
	%	46.7%		58.2%		51.9%		45.4%		50.4%	
函館校	学生数	307人		296人		290人		325人		1218人	
	奨学生数	87人	65人	80人	69人	78人	51人	68人	50人	313人	235人
	%	49.5%		50.3%		44.5%		36.3%		45.0%	
岩見沢校	学生数	189人		182人		186人		200人		757人	
	奨学生数	49人	34人	29人	35人	32人	43人	32人	42人	142人	154人
	%	43.9%		35.2%		40.3%		37.0%		39.1%	
計	学生数	1261人		1220人		1221人		1316人		5018人	
	奨学生数	299人	240人	280人	248人	289人	211人	234人	229人	1102人	928人
	%	42.7%		43.3%		41.0%		35.2%		40.5%	

(学生数は令和6年10月1日現在)

試験会場位置図

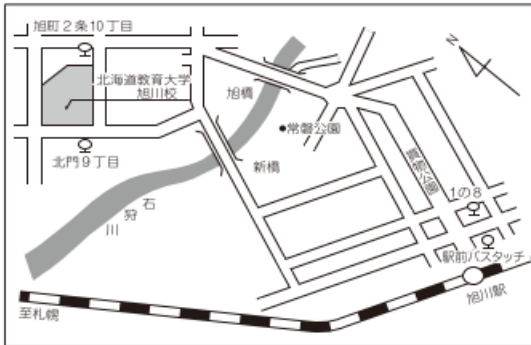
札幌校



名称 北海道教育大学札幌校
所在地 札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号
交通案内

- JR「学園都市線」の「あいの里教育大駅」から徒歩約20分（約1.4km）
札幌駅→あいの里教育大駅 約30分
- 地下鉄ーバス
地下鉄南北線の「麻生駅」から中央バス「麻④あいの里教育大線」で約32分、「あいの里4条5丁目」又は「教育大学前」下車、徒歩2分
地下鉄東豊線の「栄町駅」から中央バス「栄③栄町・教育大線」で約27分、「教育大学前」下車、徒歩2分

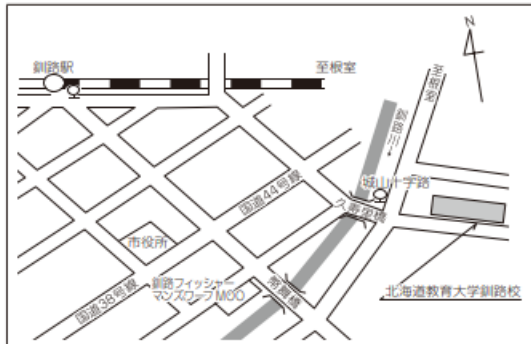
旭川校



名称 北海道教育大学旭川校
所在地 旭川市北門町9丁目
交通案内

- 「JR旭川駅（駅前バスタッチのりば④）」から旭川電気軌道バス（⑤旭町・春光線）で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分
- 「1条通8丁目（1の8のりば）」から旭川電気軌道バス（⑭旭町線）で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分
- 「1条通8丁目（1の8のりば⑭）」から旭川電気軌道バス（⑳新橋・北門線）で15分、「北門9丁目」下車、徒歩5分

釧路校



名称 北海道教育大学釧路校
所在地 釧路市城山1丁目15番55号
交通案内

- JR「釧路駅」からくしろバス（③武佐線，⑳別保線）で10分、「城山十字路」下車、徒歩4分

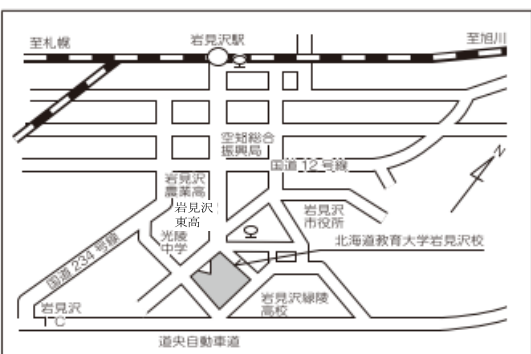
函館校



名称 北海道教育大学函館校
所在地 函館市八幡町1番2号
交通案内

- JR「函館駅」から函館バス（82系統）で約10分、「宮前町」下車、徒歩10分
- JR「函館駅」から函館バス（47系統）で約20分、「教育大通」下車、徒歩10分
- 函館空港より車で約25分

岩見沢校



名称 北海道教育大学岩見沢校
所在地 岩見沢市緑が丘2丁目34番地1
交通案内

- JR「岩見沢駅」から中央バス（かえで団地循環線（東高先回り：系統1），南町・春日循環線（市役所先回り：系統10），いわみざわ公園線（系統13），岩見沢栗山線（教大前経由：系統27））で約10分～15分、「教大前」下車、徒歩2分

※ 運行時刻等は、各自でお調べください。